



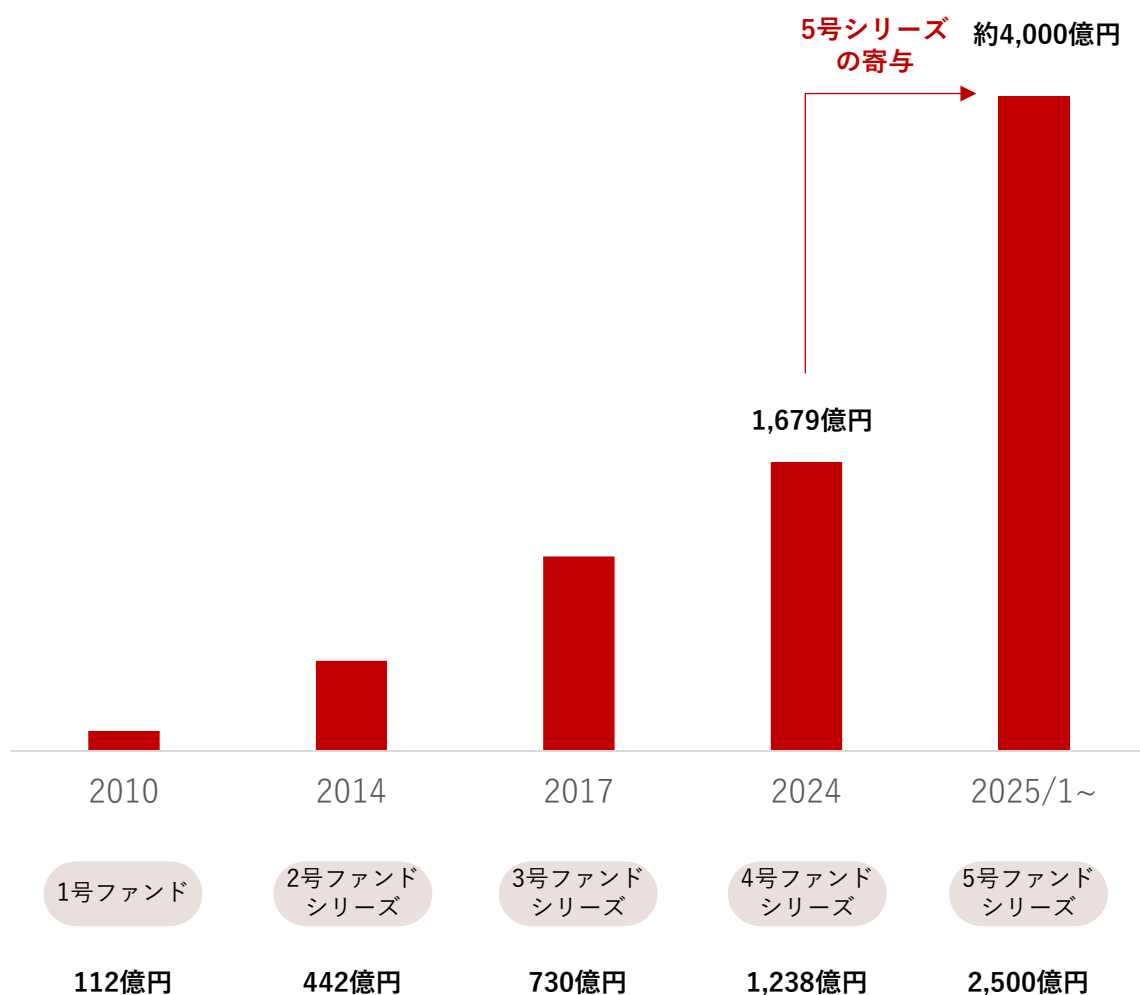
# FY2024 決算プレゼンテーション

インテグラル株式会社

2025年2月

# 日本型プライベートエクイティファンドの リーディングカンパニー

拡大を続けるFee-Earning AUM  
(FE AUM)



グロスMOIC <sup>1</sup> <b>2.9x</b>	グロスIRR <sup>1</sup> <b>27.3%</b>
投資 プロフェッショナル <b>53人/91人</b>	投資先常駐率 <b>100%</b>

# 日本の中堅企業に注力しながら、 これまでに投資した事業価値（EV）累計は6,000億円超

## 1号ファンド



封入封緘機 大手



世界的パリオレブランド

SHICATA CO.

女性靴OEM 大手



TVCM制作 大手



住宅賃貸斡旋 大手



光部品市場グローバルニッチ

## 3号ファンドシリーズ



ダイレクトマーケティング事業運営



IT/RPAの専門家集団



肥料/アンモニア化学プラントEPC大手



独立系肥料メーカー大手



サンデン・リテールシステム株式会社

自販機・冷蔵ショーケース大手



ベルトコンベア部品大手・  
ロボットSler



DX/IoTの専門家集団



カラーコンタクト企画販売大手



ブライダルリング大手

## 2号ファンドシリーズ



高集客居酒屋チェーン



くさび型足場製造 大手



低価格帯ネイルサロン 大手



低価格帯カット国内最大手



第3極最大手キャリア



世界最大級のクロマグロ養殖場運営



レディースアパレル大手



毛髪関連事業大手



車載用サーミスタ業界大手

## 4号ファンドシリーズ



フォト関連市場 大手



業務用木製家具 大手



半導体用フォトマスク 大手



投資用アパート販売  
国内大手



オフィスコーヒーサービス  
パイオニア



精密加工技術  
グローバルニッチ



国内最大規模の  
IT人材事業者


































国内最大の動物病院グループ



大型高層ビル用の  
鉄骨ファブリケーター

# 投資・Exit状況

投資先	企業概要	Status	プリンシパル	投資先	企業概要	Status	プリンシパル
	封入封緘機メーカー	Exit	Exit		ダイレクトマーケティング事業	部分Exit	投資中
	世界的パリコレブランド	Exit	投資中		RPAを中心としたITプロ集団	Exit	Exit
SHICATA co.	女性靴OEM	Exit	Exit		肥料/エチレンプラントの開発	投資中	投資中
	TVCM制作事業	Exit	-		独立系肥料メーカー	Exit	Exit
	住宅賃貸斡旋	Exit	-		自販機・冷蔵ショーケース製造・販売	投資中	投資中
	光部品市場グローバルニッチ企業	Exit	Exit		ベルトコンベア部品製造・販売	Exit	投資中
	マルチブランド、高集客居酒屋チェーン	Exit	-		システムインテグレーター	部分Exit	部分Exit
	くさび形足場の製造・販売	Exit	-	T-Garden	カラーコンタクト企画販売	Exit	Exit
	低価格帯ネイルサロン	Exit	Exit		ブライダルリング事業	投資中	投資中
	低価格帯カット事業	Exit	投資中		新品・中古カメラの小売	投資中	投資中
	第3極最大手キャリア	Exit	Exit		インテリア・コンラクト家具の企画・製造	投資中	投資中
	世界最大級のクロマグロ養殖場	Exit	-		半導体用フォトマスクの製造及び販売	投資中	投資中
	大手レディースアパレル	Exit	投資中		投資用アパートの開発・販売	投資中	投資中
	ウィッグ等の毛髪関連事業	投資中	-		オフィスコーヒーサービス事業	投資中	投資中
	車載用サーミスタ製造	Exit	Exit		精密機器の製造及び販売	投資中	投資中
					ソフトウェア関連事業	投資中	投資中
					動物病院グループ	投資中	投資中
					大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター	投資中	投資中

## 本日のアジェンダ

1. 2024年12月期の実績
2. 成長戦略
3. 今期以降の見通し
4. 総括

1

## 2024年12月期の実績

# 投資・Exitともにアクティブ

1Q~3Q



2号回収

2024年1月・3月

自己株取得及び  
鈴木ホールディングスへの全株式譲渡



3号回収

2024年2月

自己株取得及び  
創業家への全株式譲渡



2号回収

2024年8月

リキャピタリゼーション  
取引を通じた株式譲渡



3号回収

2024年6月・7月

豆蔵K2TOP社による  
投資先2社の株式譲渡

旭化成メディカル  
株式会社

投資予定

2024年9月公表

旭化成メディカルの  
血液浄化事業に資本参加

4Q



4号投資

2024年11月

有力動物病院3社の  
持株会社への資本参加

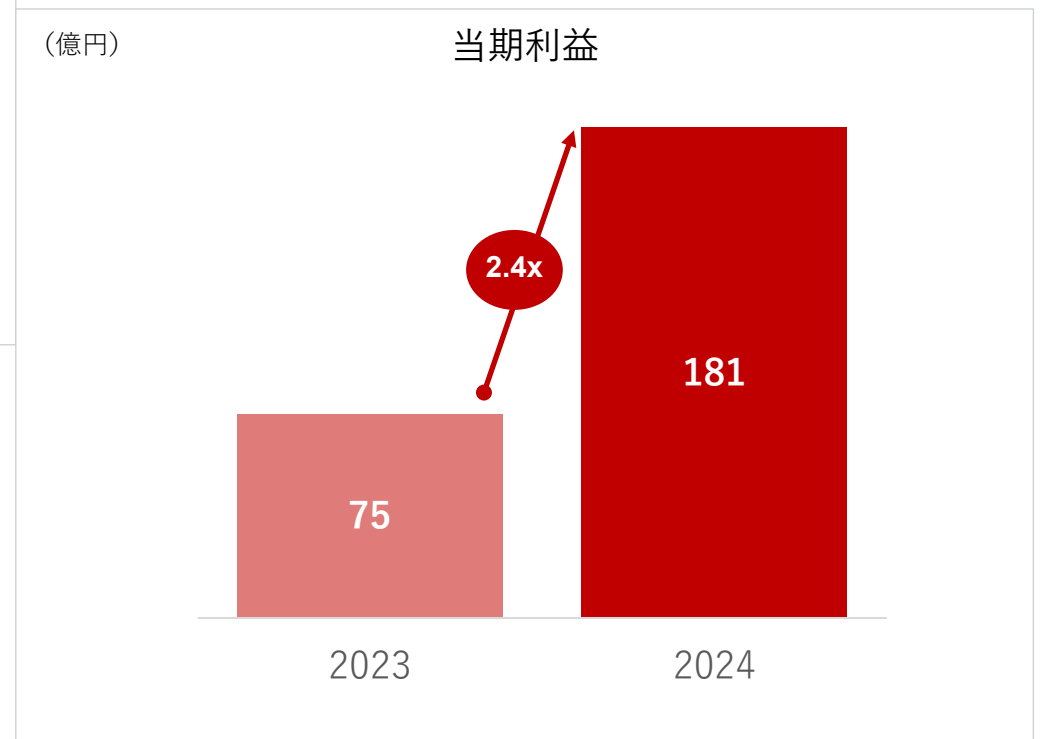
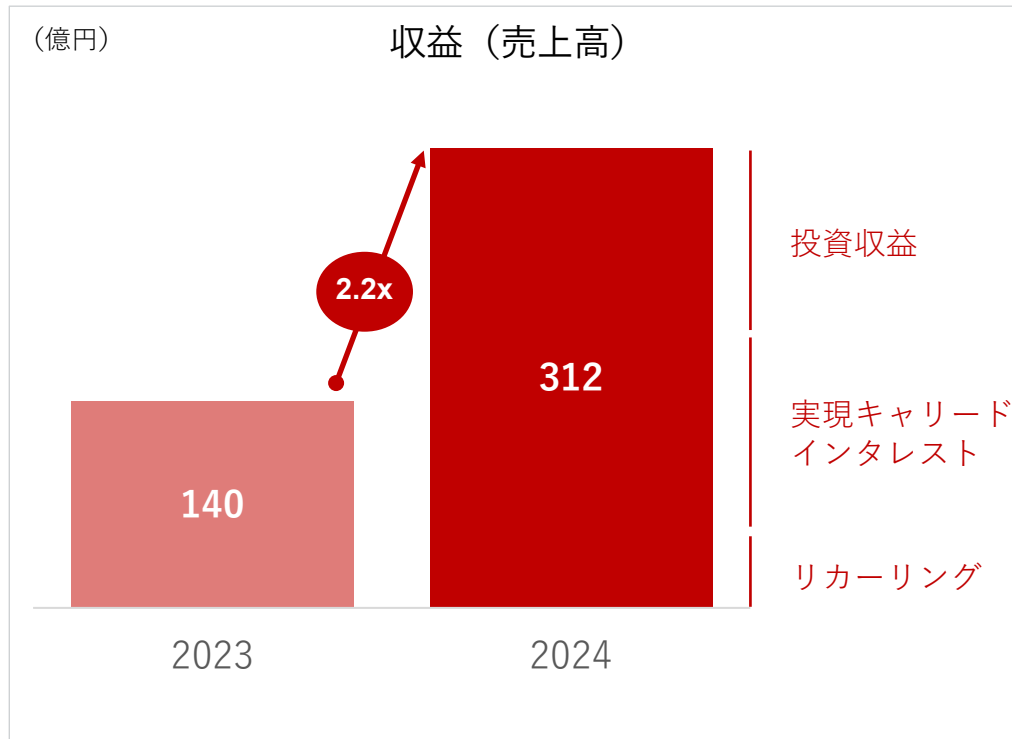
T-Garden

3号回収

2024年12月

第三者への  
全株式譲渡

# 収益・利益ともに前期から大幅増加



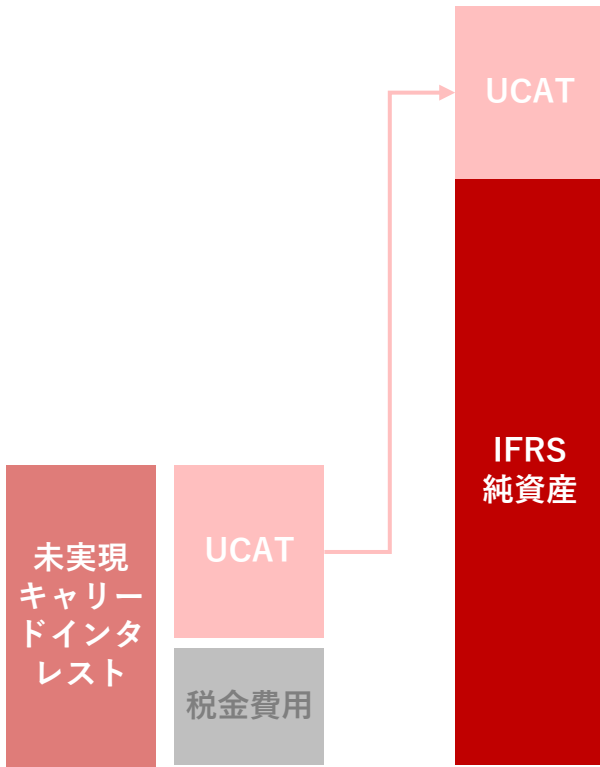


# 経済収益ベース純資産が着実に成長

## フレームワーク

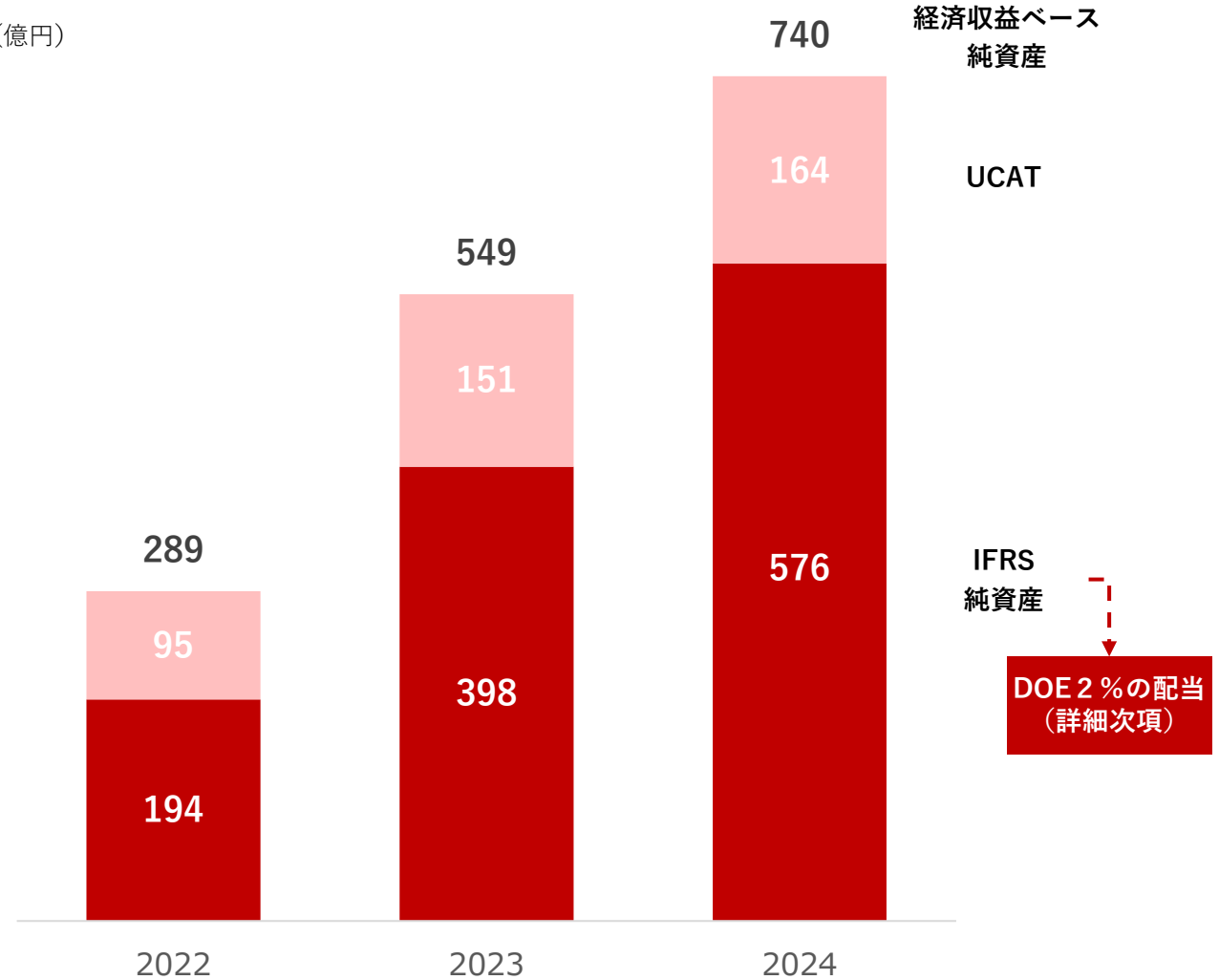
UCAT : 未実現キャリド  
インタレスト (税引後) <sup>(1)</sup>

経済収益  
ベース純資産 <sup>(2)</sup>



## 経済収益ベース純資産

(億円)



# 配当方針・配当金額

## 2024年12月期の配当金

- 当社の配当方針は、DoE（Dividend on Equity Ratio：株主資本配当率）に基づき配当金額を決定
- 2024年12月期はDoE2%の方針の下、**34円を年間配当金**と決定（2024年12月期末の親会社の所有者に帰属する持分合計に2%を乗じた金額）
- また、支払済の中間配当金12円\*と上記34円との差額である**22円を期末配当金**と決定

\*中間配当金12円は、前年度（2023年12月末）実績の親会社の所有者に帰属する持分合計に2%を乗じた金額である予想年間配当金24円の半分

## 2025年12月期の配当方針

- 2025年12月期も同様にDoE2%の方針を予定
- 2025年12月期の**予想年間配当金は、34円**（**中間17円**ならびに**期末17円**）
- 上記金額は、前年度（2024年12月末）実績の親会社の所有者に帰属する株主資本持分合計に2%を乗じて計算し、中間・期末を同額に設定

一株当たり配当金			
基準日	中間	期末	年間
2023/12（実績）	0円	0円	0円
2024/12（実績）	<b>12円</b>	<b>22円</b>	<b>34円</b>
2025/12（予想）	<b>17円</b>	<b>17円</b>	<b>34円</b>

# マルチアセット化の推進

## 不動産投資ファンド事業の開始

2024年11月11日

各位

会社名 インテグラル株式会社  
代表者名 代表取締役パートナー 山本 礼二郎  
(コード番号: 5842 東証グロース)  
問合せ先 CFO&コントローラー 澄川 恭章  
(TEL. 03-6212-6100)

### 不動産投資ファンド事業の開始に関するお知らせ

当社は、2024年11月11日開催の取締役会において、下記のとおり不動産投資ファンド事業を開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 不動産投資ファンド事業開始の趣旨

当社は、2024年3月公表の「事業計画及び成長可能性に関する事項」に掲げた通り、プライベートエクイティ投資に加えてさらに不動産等のアセットクラスへ投資するファンド事業を展開することで、社会と産業の発展へ貢献し、結果として当社企業価値の増大およびさらなるAUMの拡大を図っていくことを中長期成長戦略として構想しております。

この度、当社は不動産投資ファンド事業に精通した投資プロフェッショナル4氏を新たに招聘し、当該事業への参入を目的とした「インテグラル・リアルエステート株式会社」（以下、「IRE」といいます。）を設立し、不動産投資および同ファンド運営事業を開始することを決議いたしました。

## 不動産1号ファンドのローンチ

2025年1月20日

各位

会社名 インテグラル株式会社  
代表者名 代表取締役パートナー 山本 礼二郎  
(コード番号: 5842 東証グロース)  
問合せ先 CFO&コントローラー 澄川 恭章  
(TEL. 03-6212-6100)

### インテグラル・リアルエステート・ファンド1号 ファーストクロージングに関するお知らせ

当社グループのインテグラル・リアルエステート株式会社（以下、IRE）は、2024年11月11日付で公表した不動産投資ファンド事業の第1号ファンドとして、インテグラル・リアルエステート・ファンド1号（以下、IREF I）のファーストクロージングを行いましたので、その内容と今後の見直しをお知らせ致します。

IREF Iは、IREが運用することを目的に新たに設立したファンドであるインテグラル・リアルエステート1号投資事業有限責任組合及びその他設立予定の投資ビークルの総称です。

記

#### 1. IREF Iに係るファンドレイズ活動

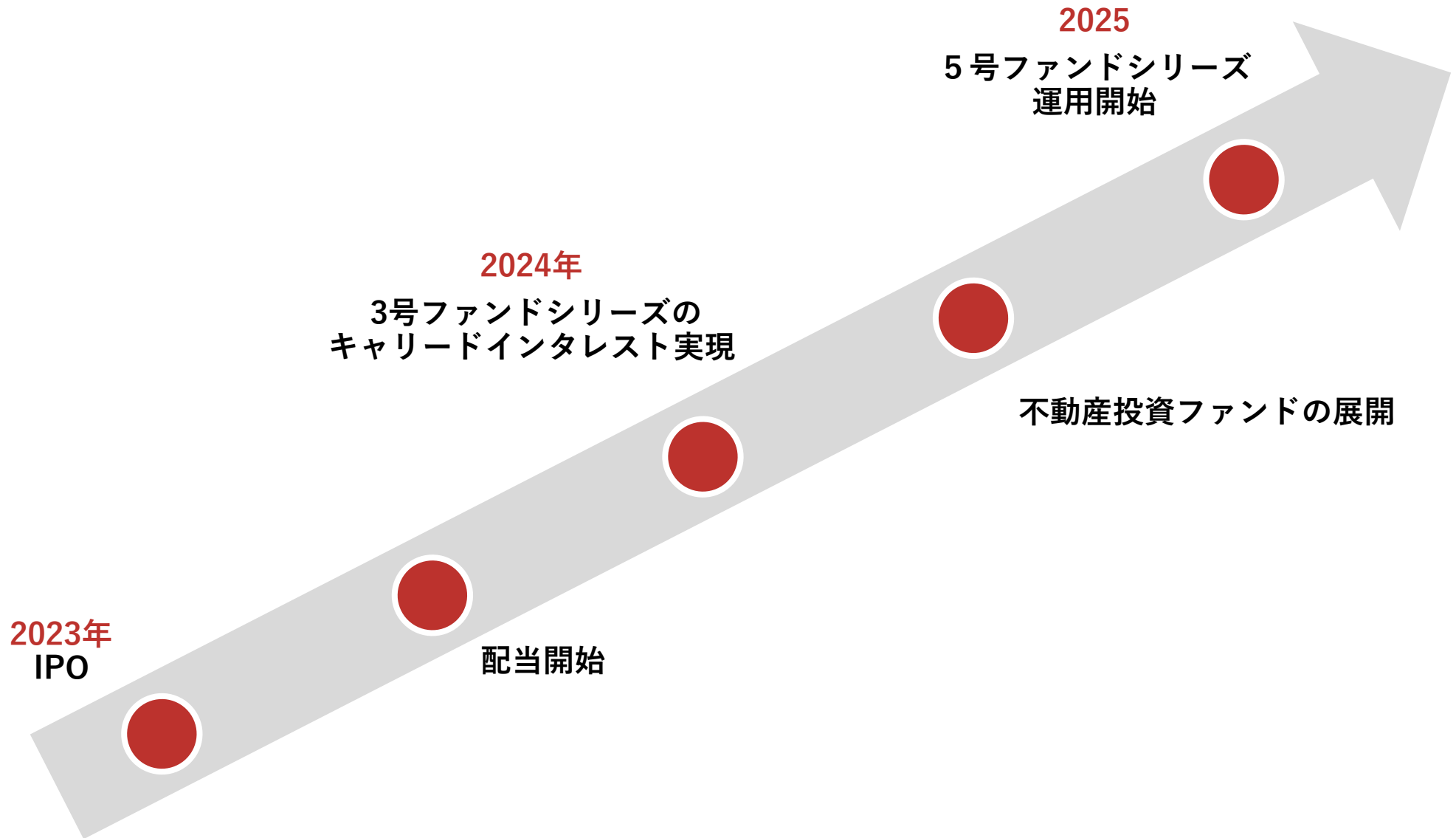
当社はIREF IIに関し、2025年1月20日付でインテグラル・リアルエステート1号投資事業有限責任組合に係る投資事業有限責任組合契約を締結（ファーストクロージング）しました。今後は外部資金の調達によるファイナルクロージングに向けてファンドレイズ活動を継続する予定であり、最終的なIREF Iの出資約束金額は100億円以上を目指しております。



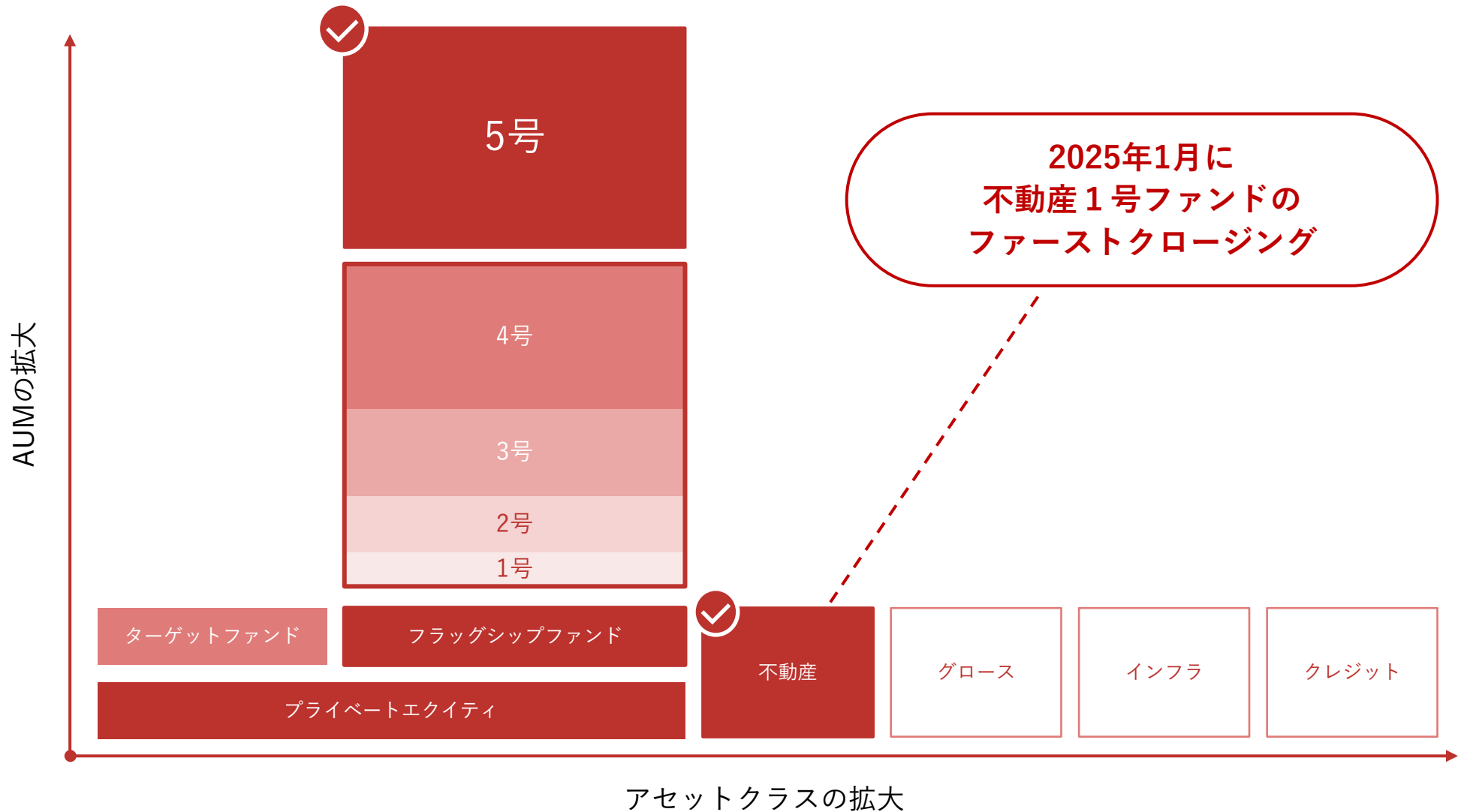
2

成長戦略

# 5号ファンドシリーズが運用開始へ



# マルチアセット化の更なる推進





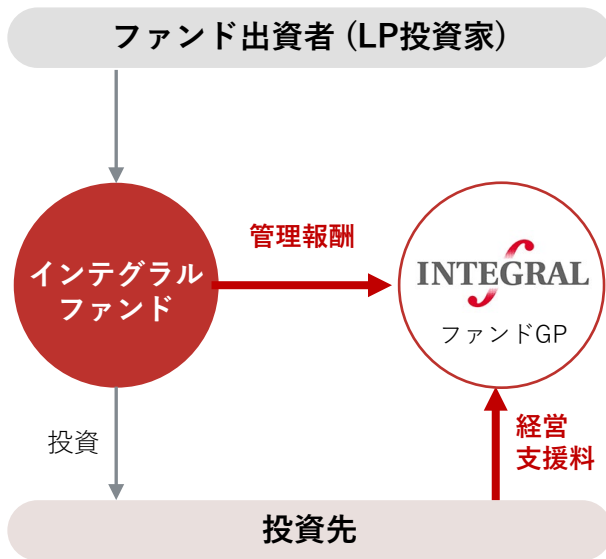
3

今期以降の見通し

# 収益の3本柱

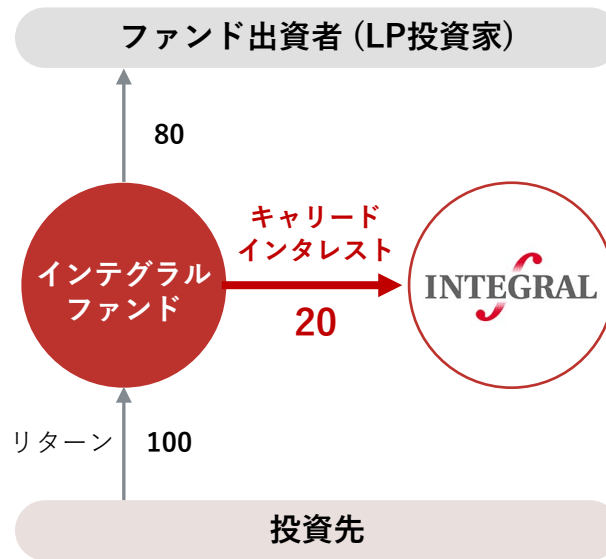
1

複数ファンドのFE AUMから  
一定割合の管理報酬を  
毎四半期毎に受領



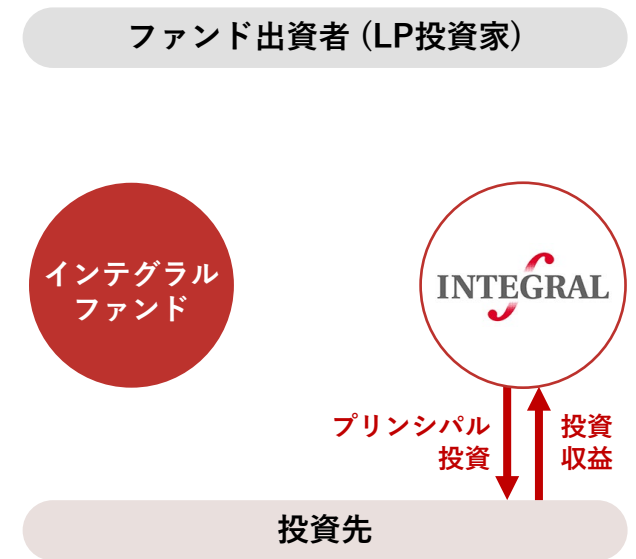
2

リターンの一定割合を受領



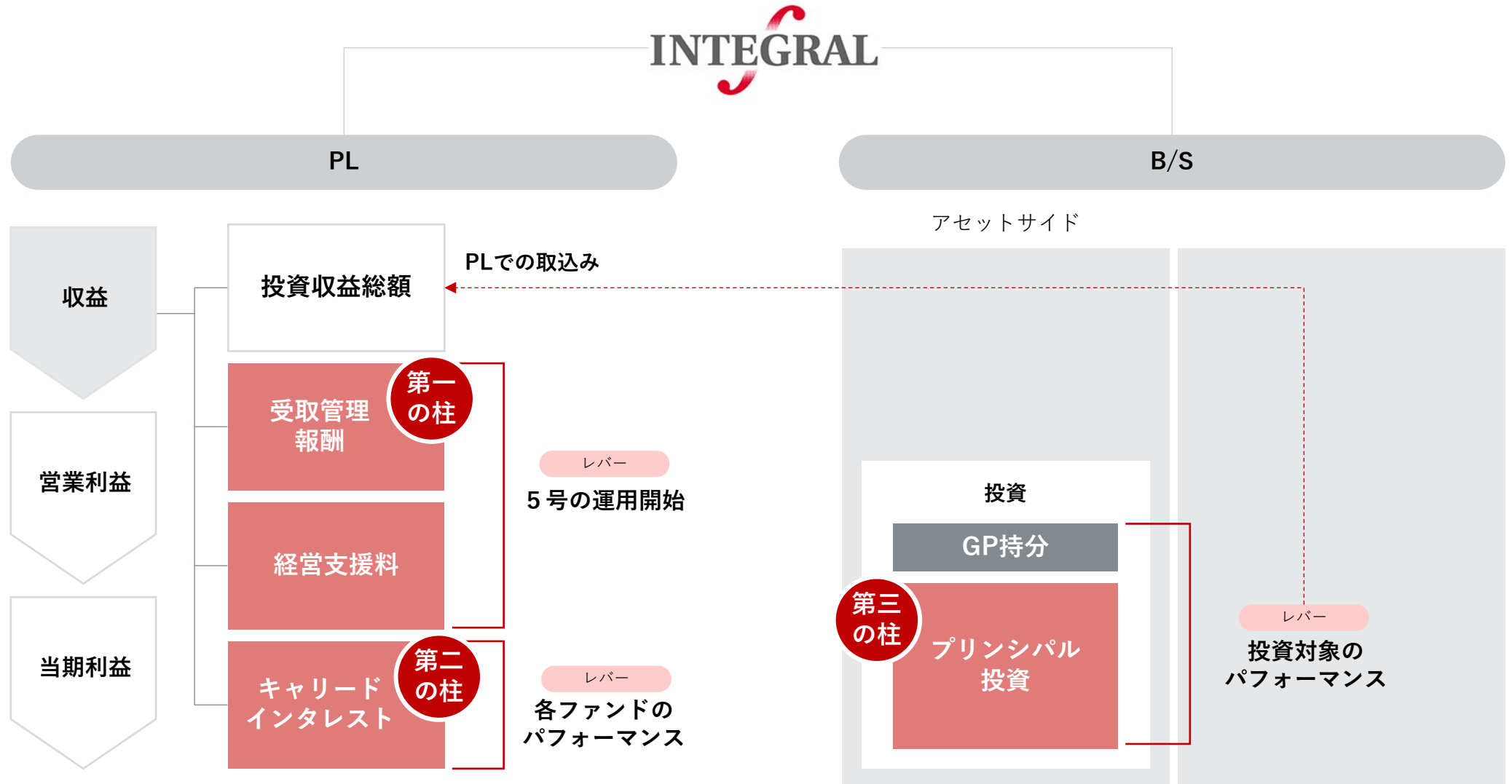
3

ファンド投資と自己資金を同時に出資。  
インテグラルだけが提供する競争優位性

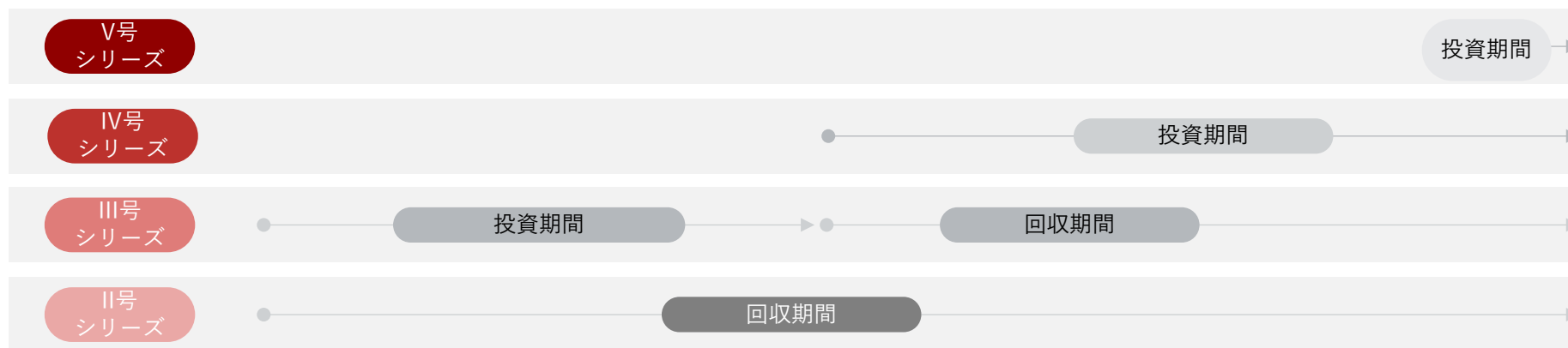
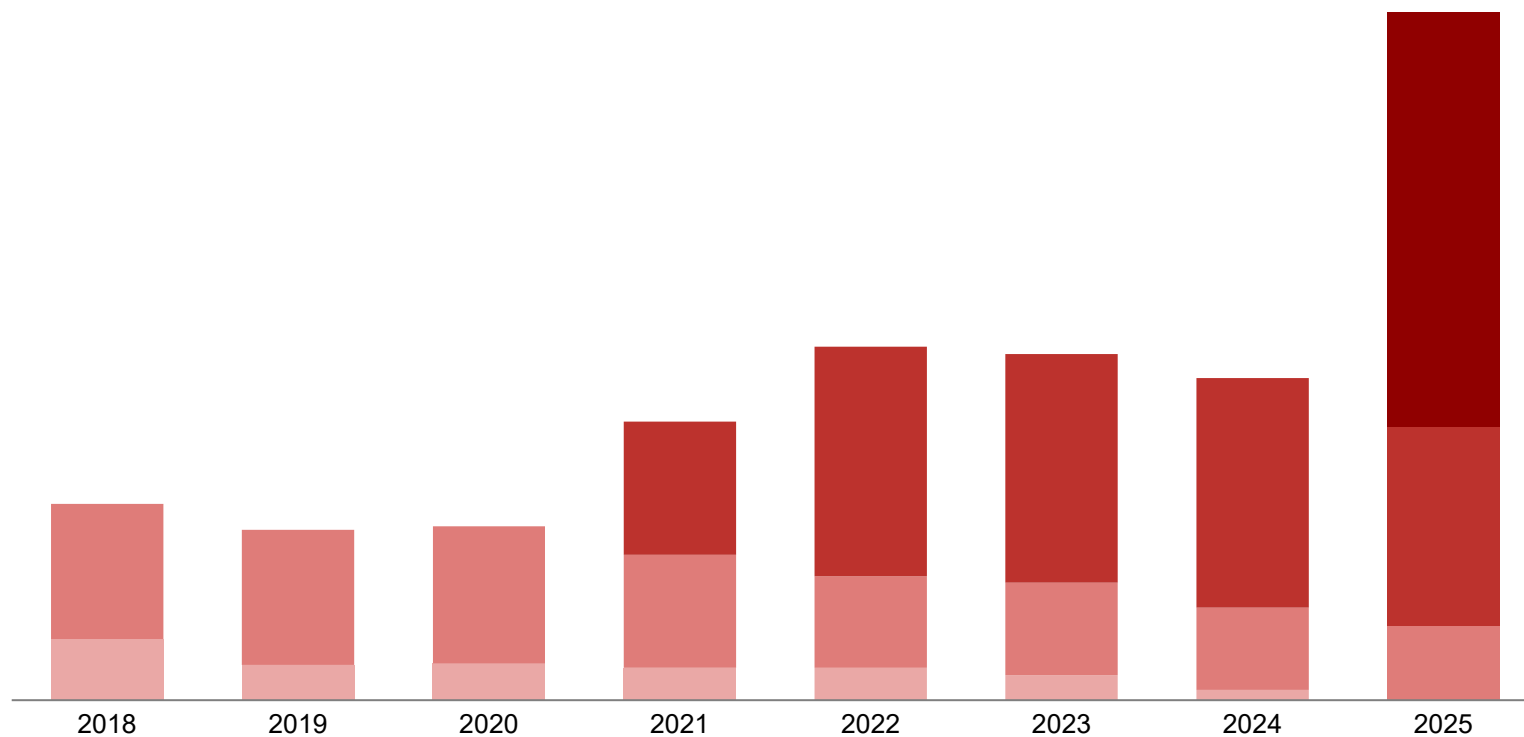




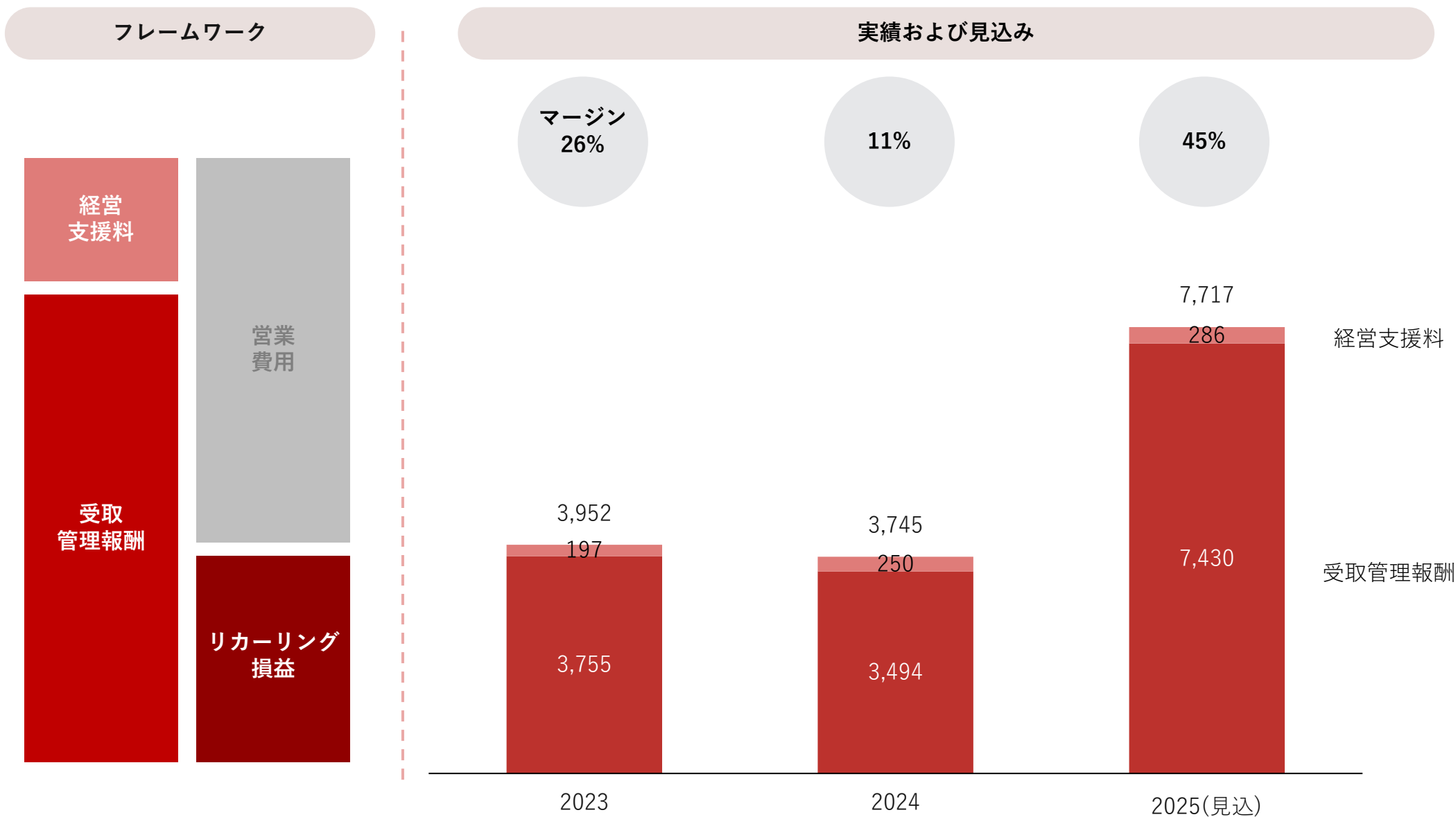
# 3本柱によるユニークな価値創造モデル



# 第一の柱① 管理報酬は積み重ねへ

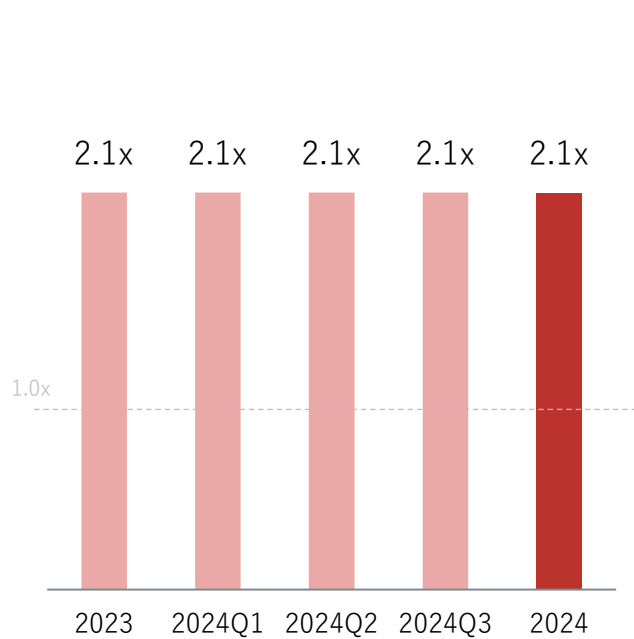


# 第一の柱② 良好なリカーリングマージン



# 第二の柱① 堅実なファンドパフォーマンス

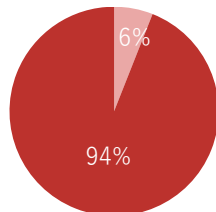
## 2号ファンドシリーズ



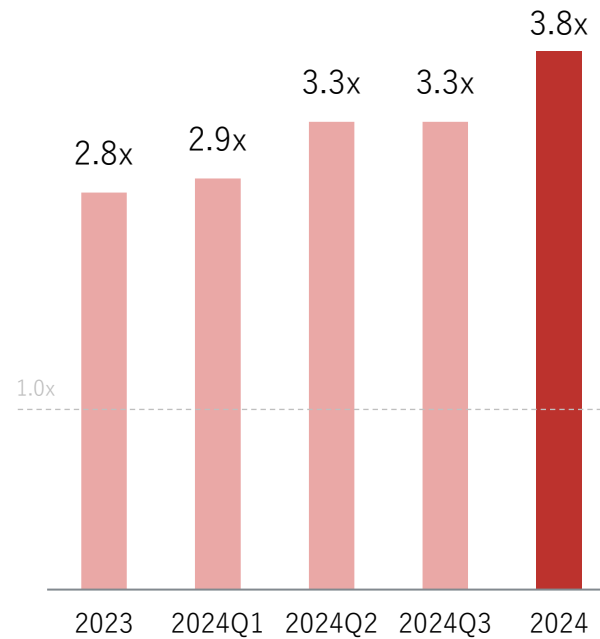
2014~

■回収 ■NAV (未回収分)

出資約束金額  
442億円



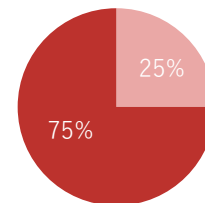
## 3号ファンドシリーズ



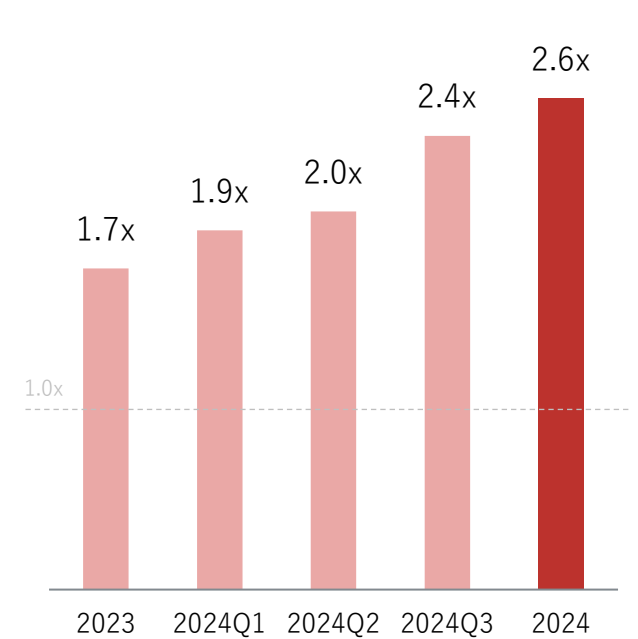
2017~

■回収 ■NAV (未回収分)

出資約束金額  
730億円



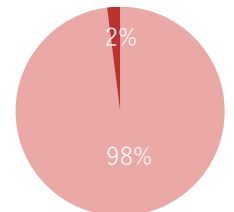
## 4号ファンドシリーズ



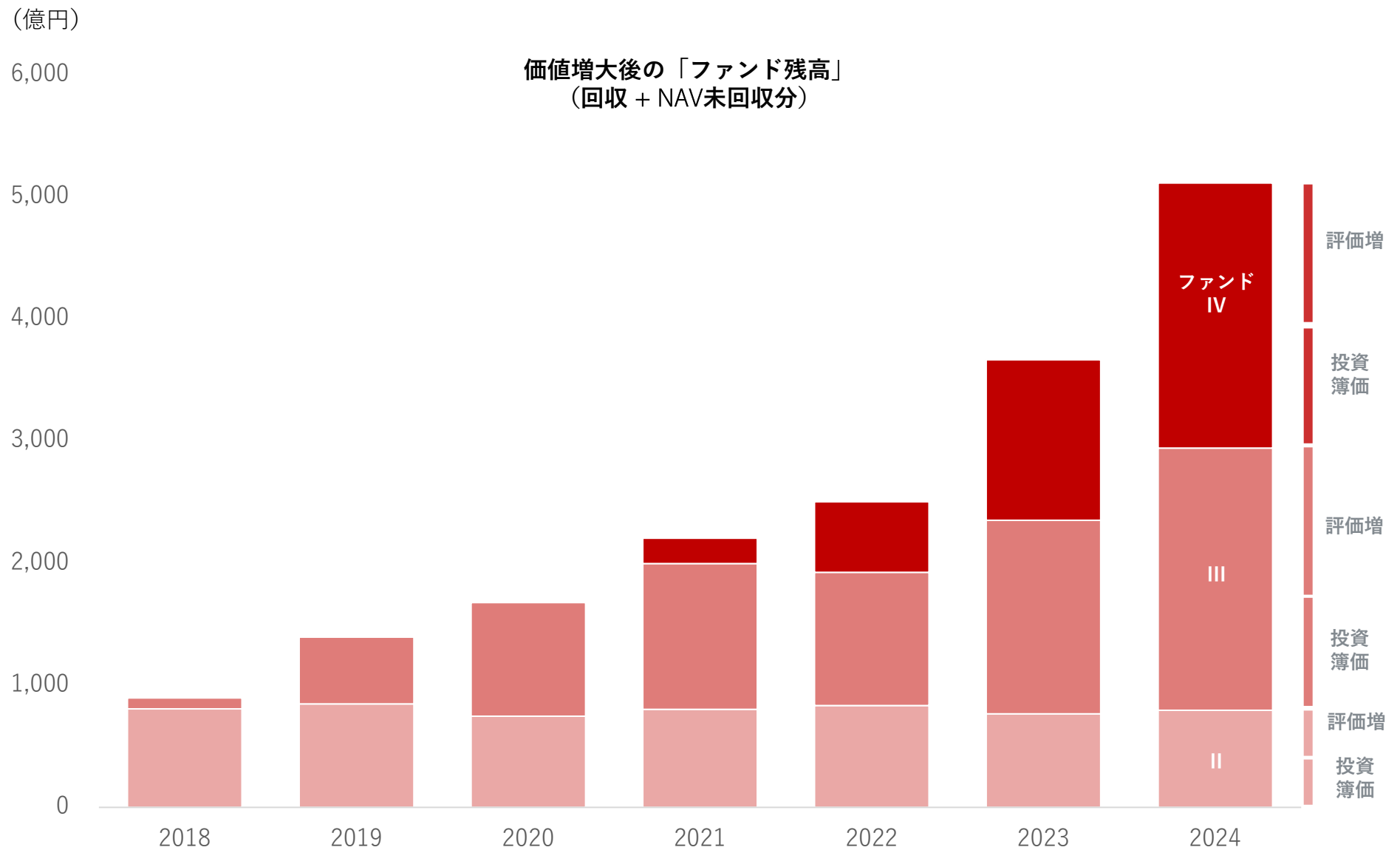
2021~

■回収 ■NAV (未回収分)

出資約束金額  
1,238億円



## 第二の柱② キャリートインタレストの源泉



## 第二の柱③

「投資先繁栄」をまず第一に大切にし、結果としてリターンに

ストック残高がどれだけ成長しているか

「ファンド残高」が  
価値増大している

源泉

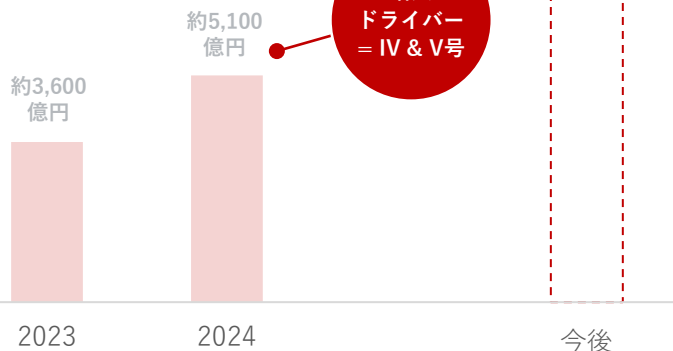
「キャリドインタレスト」が  
増大している

源泉

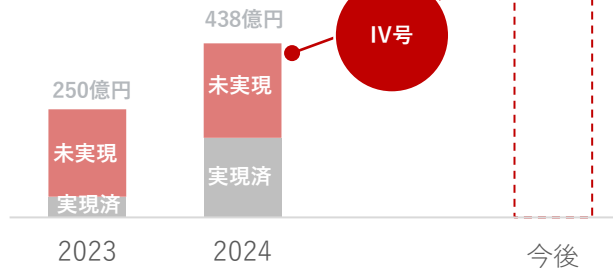
ストックからフローに

キャリドインタレスト  
の将来の実現額を予想可能

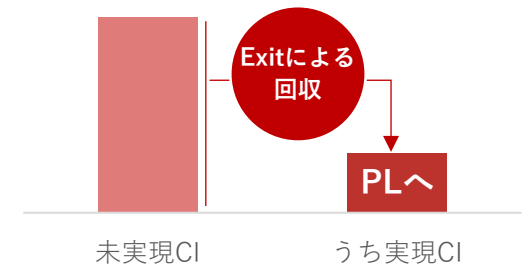
価値増大後の「ファンド残高」  
= 回収 + 残存FV(フェアバリュー)



「キャリドインタレスト」が増大



実現キャリドインタレストが  
生み出され、PL上で収益認識

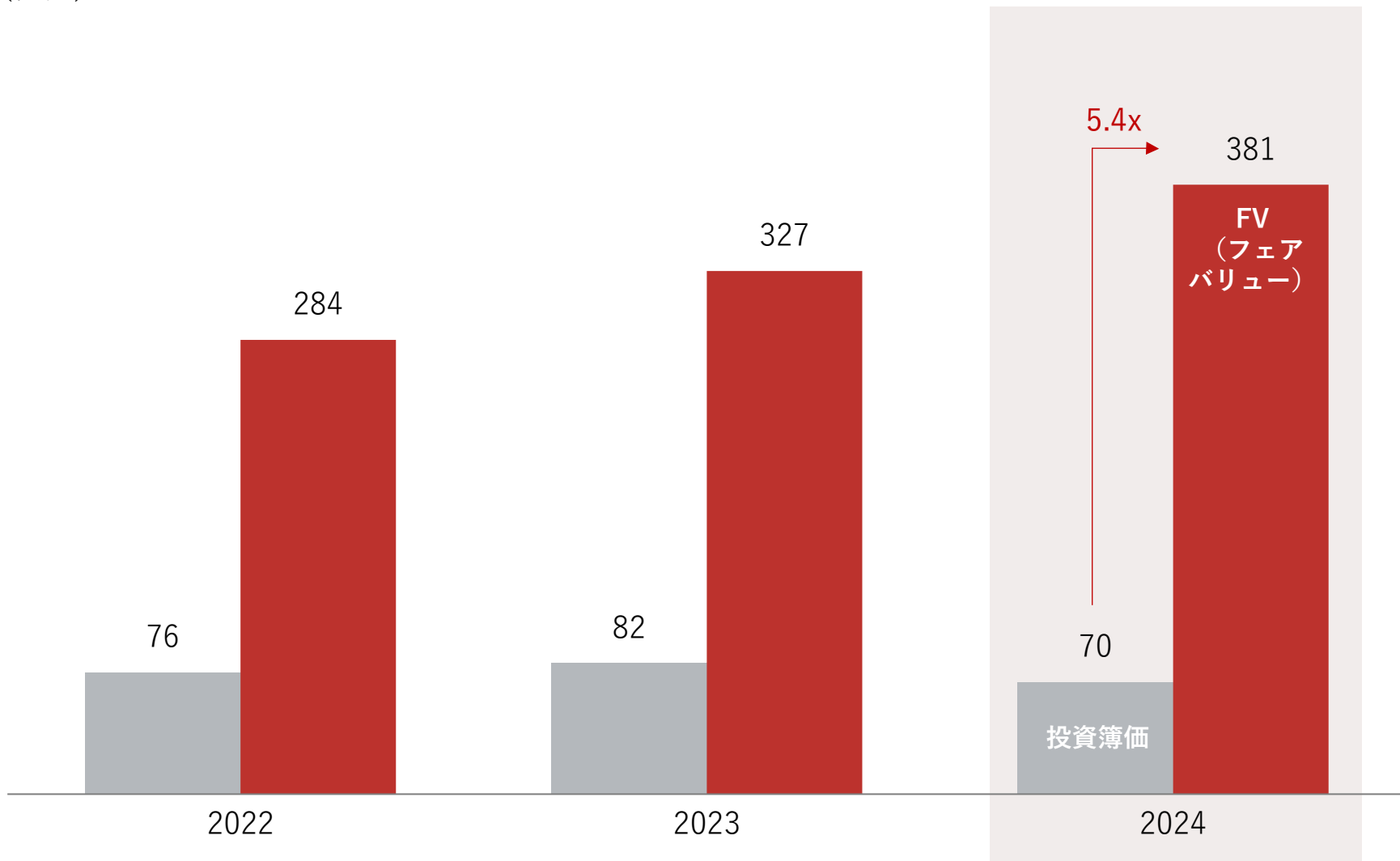


決算短信4ページでも主要なKPIとして開示

(億円)	2022/12	2023/12	2024/12
AUM	2,464	2,185	1,999
...			
未実現キャリド インタレスト			
2号ファンドシリーズ	64	20	6
3号ファンドシリーズ	73	144	80
4号ファンドシリーズ	-	53	150

# 第三の柱 プリンシパル投資も順調に拡大

(億円)



## 総括

- 1 — 3号ファンドシリーズでキャリートインタレストの実現が開始  
(2024年7月)
- 2 — 出資約束金額2,500億円の5号ファンドシリーズが運用開始へ  
(2025年1月)
- 3 — 不動産投資ファンド事業を開始、1号ファンドをローンチ  
(2024年11月及び2025年1月)





# Appendix



1



# インテグラルについて

# 当社パートナー・CFO



**山本 礼二郎**

代表取締役パートナー / 創業メンバー



**佐山 展生**

パートナー / 創業メンバー



**辺見 芳弘**

取締役パートナー / 創業メンバー



**水谷 謙作**

取締役パートナー / 創業メンバー



**早瀬 真紀子**

取締役パートナー



**二井矢 聡子**

パートナー (弁護士)



**後藤 英恒**

パートナー



**山崎 壯**

パートナー



**西岡 成浩**

パートナー



**澄川 恭章**

CFO&コントローラー (公認会計士)

# 不動産投資ファンドのパートナー



**江村 峻徳**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ミリア・レジデンシャル
- イデラキャピタルマネジメント
- アーバン・アセットマネジメント



**中井 宏典**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- CBREインベストメントマネジメント
- 東京海上アセットマネジメント
- ヒューリック
- K J R マネジメント
- 東急



**中原 健佑**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- オリックス
- キャピタランド・ジャパン
- M&G Real Estate Japan
- Phoenix Property Investors Japan



**住谷 智宏**

インテグラル・リアルエステート株式会社  
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ブラックストーン・グループ
- 大和証券SMBC

# 投資・Exit実績

主要イベント	1号	2号シリーズ				3号シリーズ				4号シリーズ							
1号実行	   Yohji Yamamoto SHICATA CO. アバマンショップ																
2号シリーズ実行		       J-Trading OHIZUMI															
3号シリーズ実行						    日東工コー株式会社 AMEZOU KZTOP HOLDINGS PRIMO GHD SANDEN T-Garden											
4号シリーズ実行											        旭化成 メディカル (公表済) 						
ファンド持分エグジット		    SHICATA CO.    DmMiX (部分Exit) OHIZUMI SKY (部分Exit)  Tbi (部分Exit)     AMEZOU KZTOP HOLDINGS (部分Exit) T-Garden															
	2008	2009	2010	2011/2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025

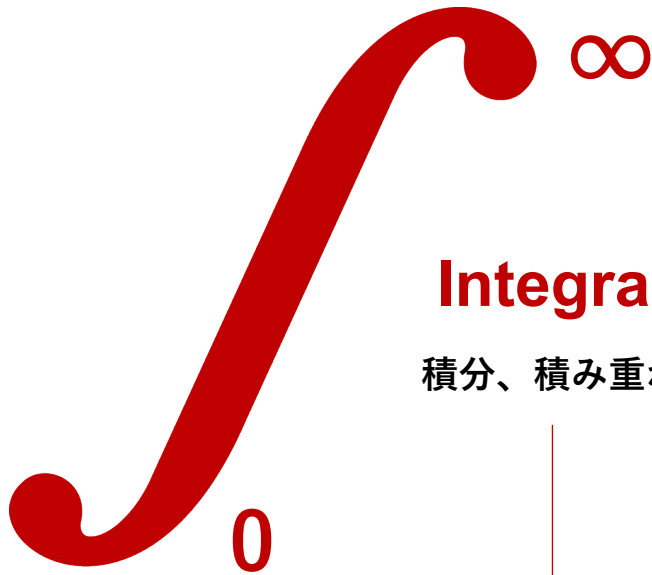


2

インテグラルの特徴

# Our Mission

我々のミッション



## Integral

積分、積み重ね

ハートのある信頼関係と  
最高の英知の積み重ね



## Trusted Investor

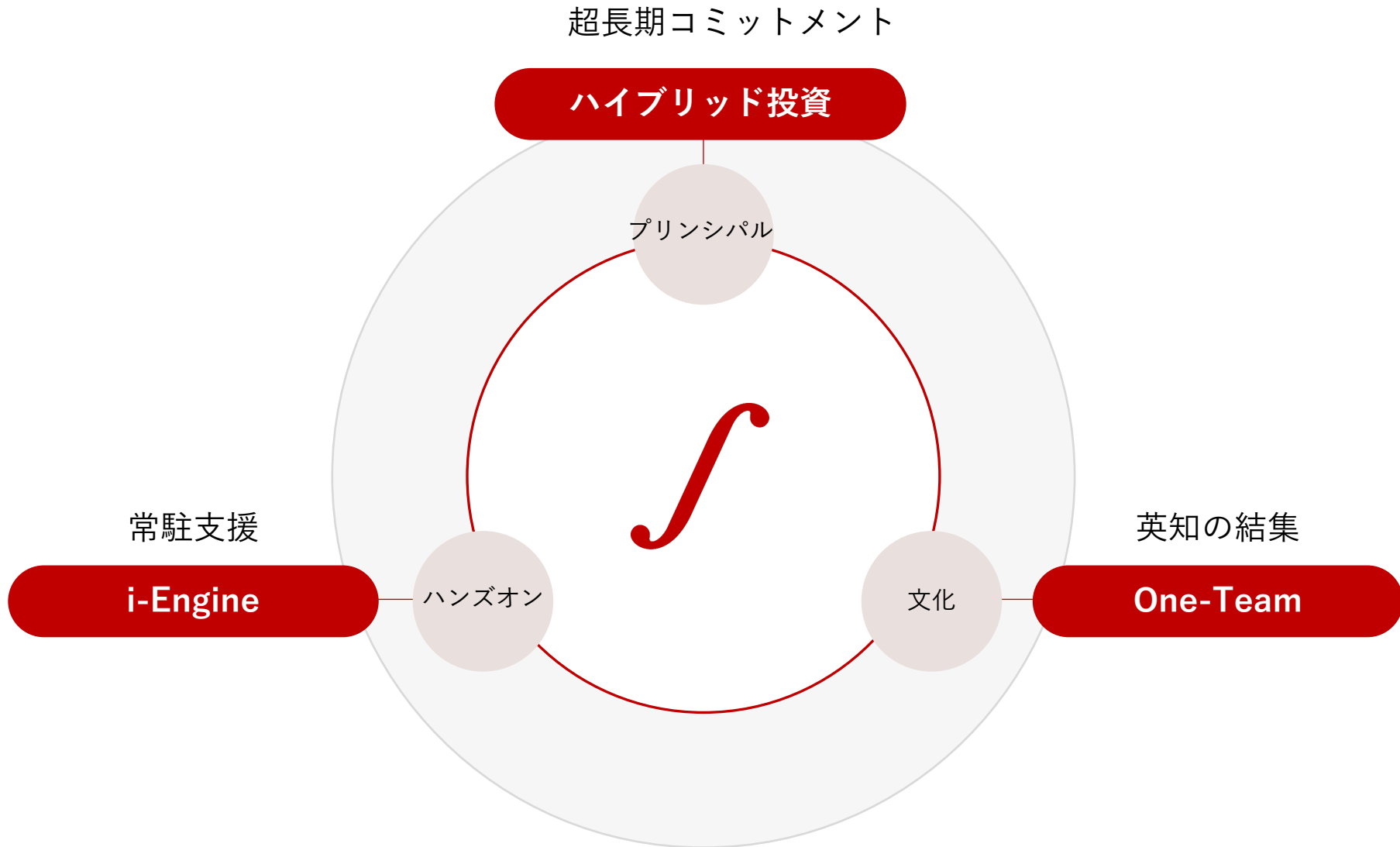
信頼できる資本家

経営と同じ目線・  
時間軸



世界に通用する  
日本型の企業改革を  
実現

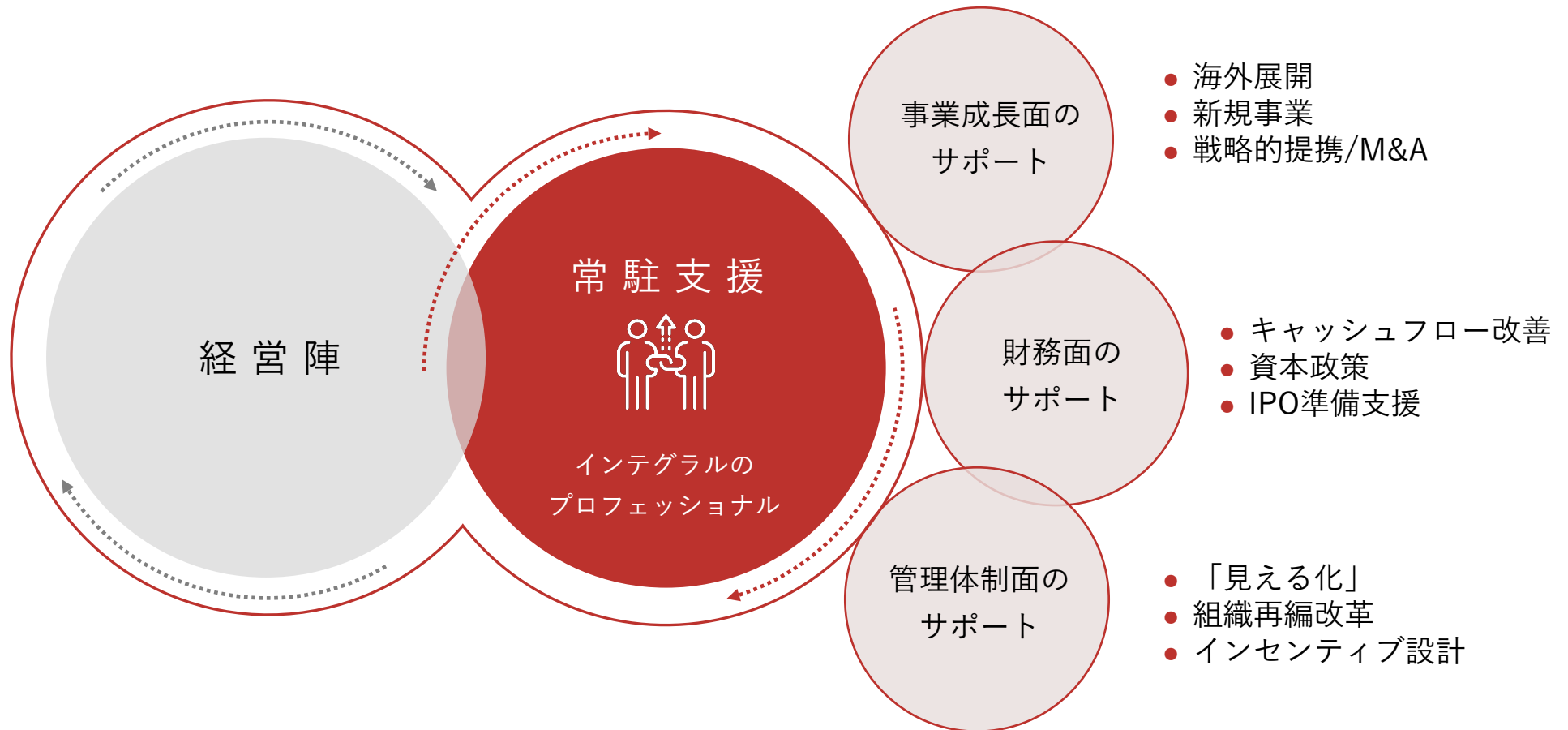
# なぜインテグラルが差別化されているか





# i-Engineとは

投資プロフェッショナルが常駐でハンズオン支援することで  
社内体制強化を迅速かつシームレスに実行





4

チャンスに満ちたビジネス機会

# 日本には広大なアップサイドが存在



ファンドの資金調達サイド

GDP全体に占めるPE関与割合

Japan

0.4%

United States

1.3%

United Kingdom

1.9%

Germany

0.7%

日本はユニークであり  
需要と供給の  
両方が成長へ

オルタナティブ資産への投資割合

GPIF (Japan)

1.5%

PFA for Local Govt.  
(Japan)

1.0%

Federation of  
municipalities (Japan)

1.0%

GPF (Norway)

1.8%

NPS (South Korea)

15.8%

CalPERS (US)

27.6%

CPPIB (Canada)

58.0%

NSSF (China)

14.0%

CalSTRS (US)

46.9%



ファンドの投資サイド

# なぜ今が好機なのか？

## 事業承継

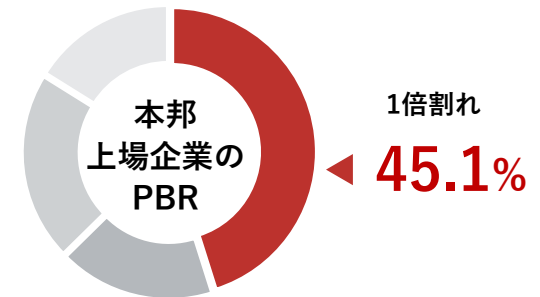
中小企業経営者の  
70歳以上比率

25.5%

直近5年間の  
事業承継M&Aの  
増加率

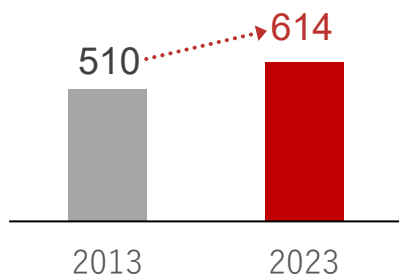
約2.4x

## 割安な株価評価

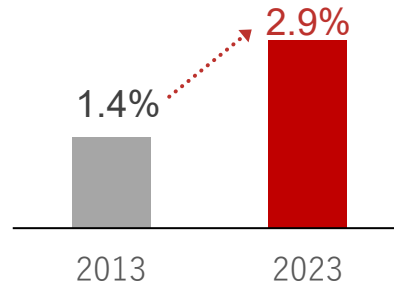


## カーブアウト

カーブアウト案件数



うち、  
PEファンド関与比率



## アクティビズム

アクティビスト・  
機関投資家による提案件数



同意なきTOBの件数

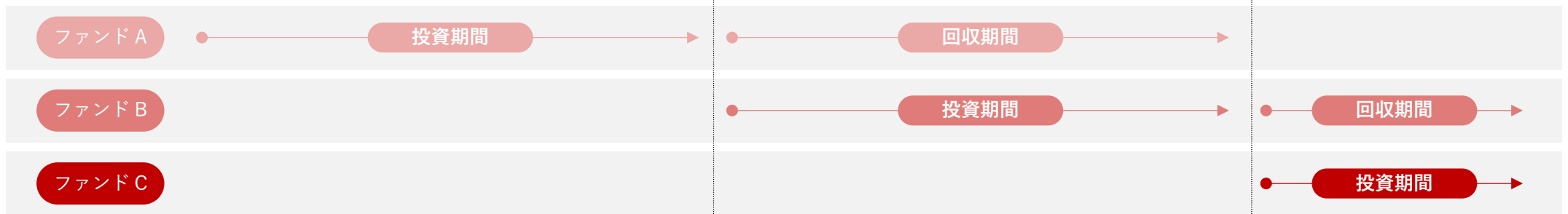
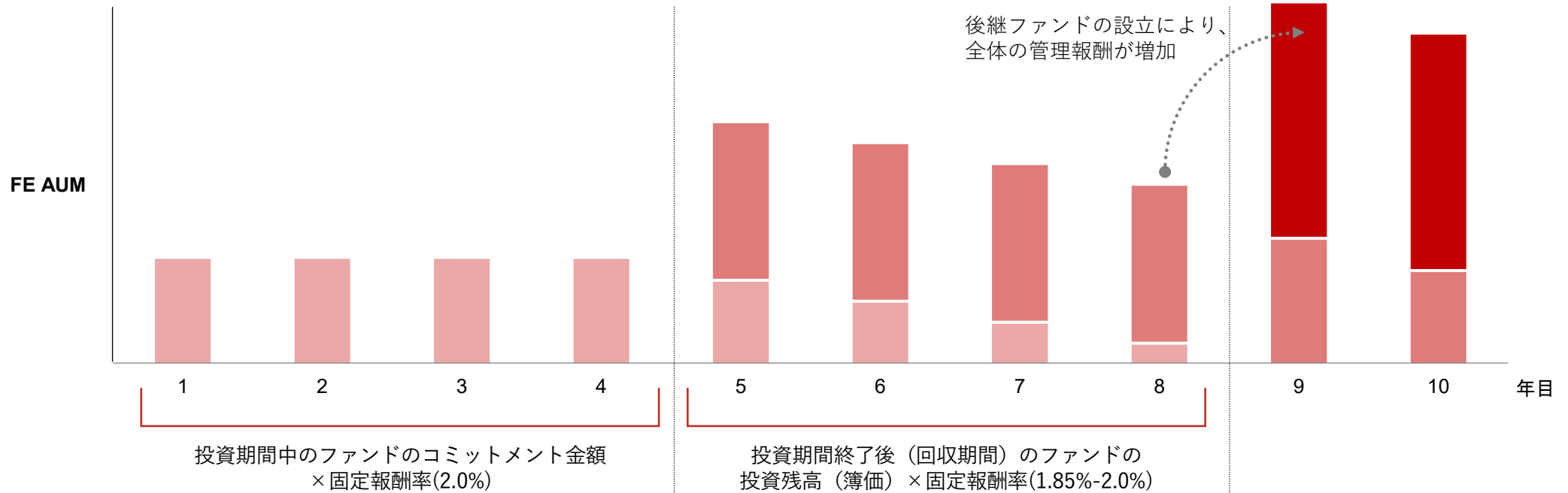


5

## インテグラルの事業モデル

# 管理報酬が、企業価値向上の礎に

## モデルイメージ<sup>1</sup>

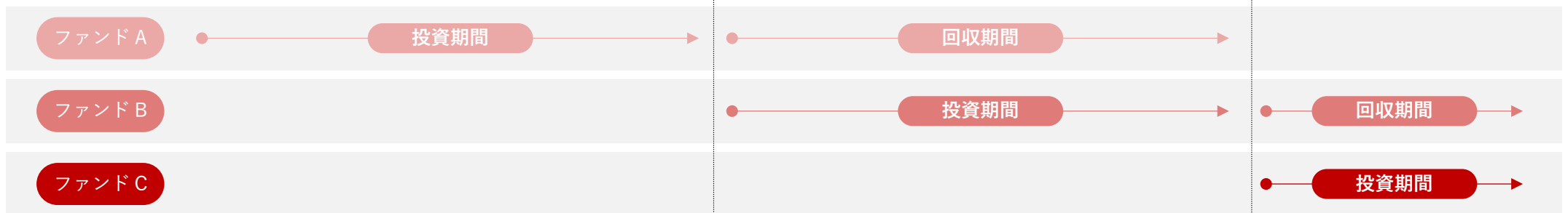
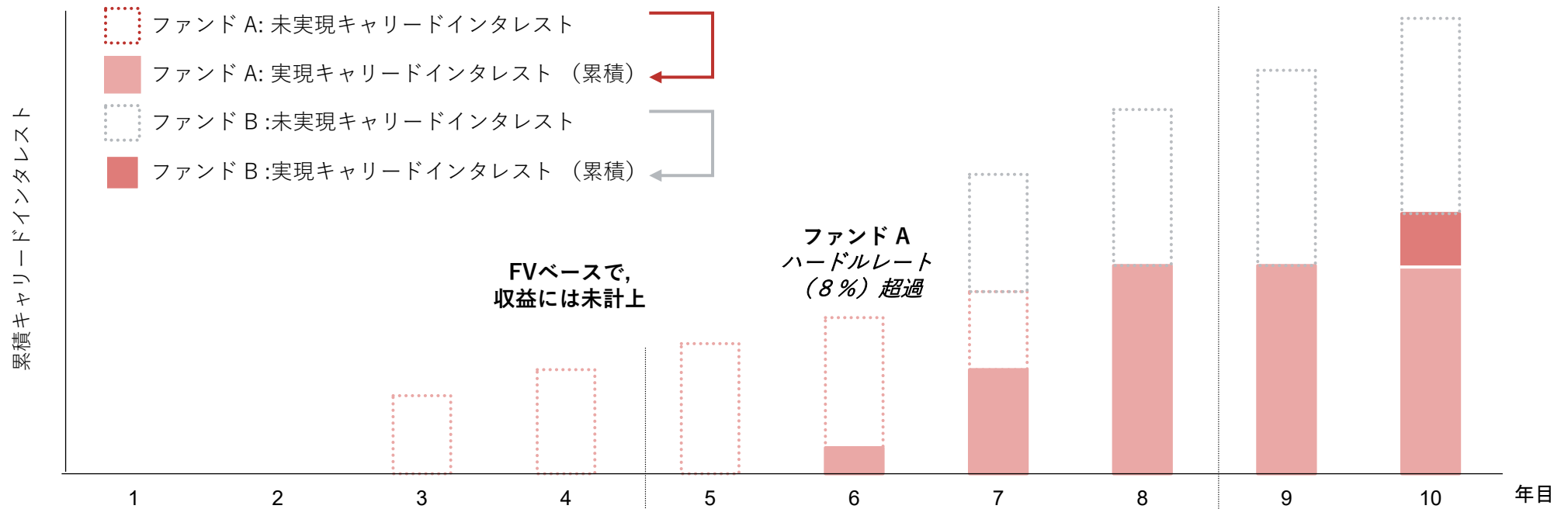


1. 前提条件：4年ごとに次号Fundを設立し、次号Fund毎にファンドサイズが1.5倍増加した場合の想定

# ハードルレートを超過すると、キャリドインタレストが実現

モデルイメージ

ファンド B  
ハードルレート  
超過



# キャリードインタレストの高い投資効率

リターンに関するモデルイメージ<sup>1</sup>

想定	投資額 (LP+GP)	100億円	GPコミットメント	2%
	投資期間	4年	ハードルレート	8%
	投資回収額	250億円	ハードル投資利益	36億円

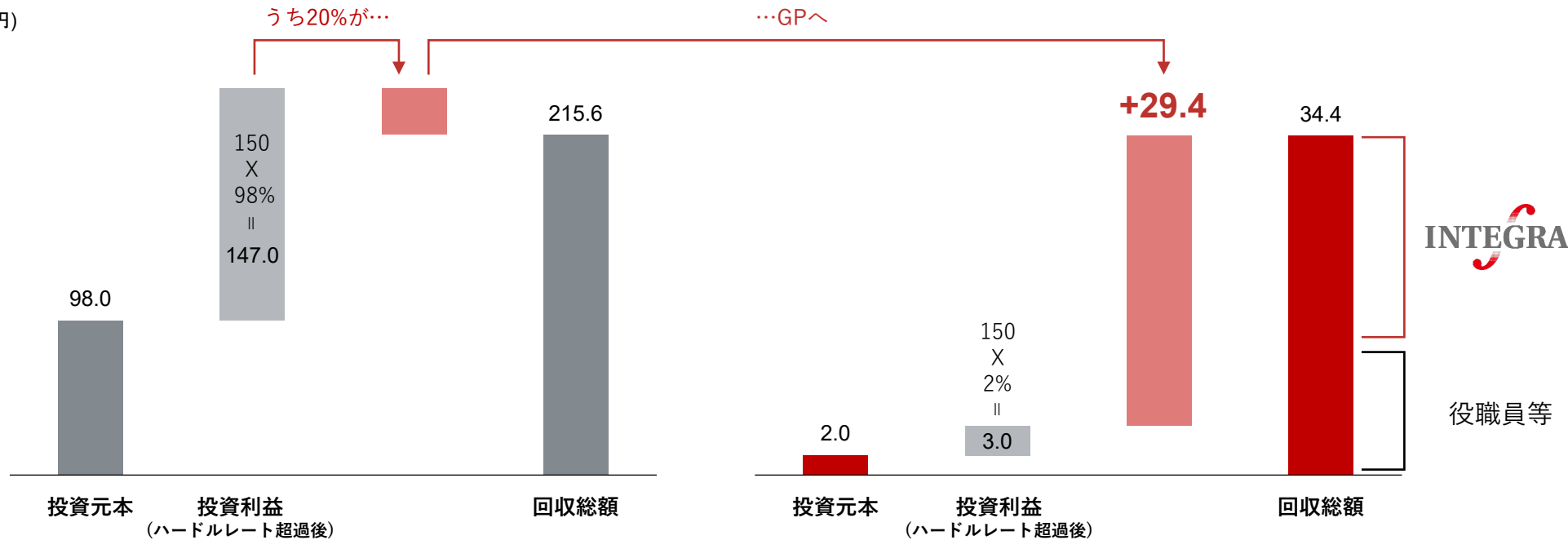
LPのリターン

MOIC<sup>1</sup> 2.2x: IRR<sup>1</sup> 21.8%

GPのリターン

MOIC<sup>1</sup> 17.2x: IRR<sup>1</sup> 103.6%

(億円)



1. 上記の前提に基づき算出されたNet MOIC / IRRを指す。Net MOIC / IRRとはそれぞれ、案件への投資実行額に対する、当該案件の回収額(未実現のキャリードインタレストを含まない。)から諸費用を控除したリターンに基づく割合と内部収益率を指す



# ターゲットしていく各KPI

FE AUM成長率

FE AUM成長率  
**10-20%**

Organic/inorganic  
の双方で

資本効率性

5年平均ROE  
**約15%**

DOE 2%

リカーリング収益マージン

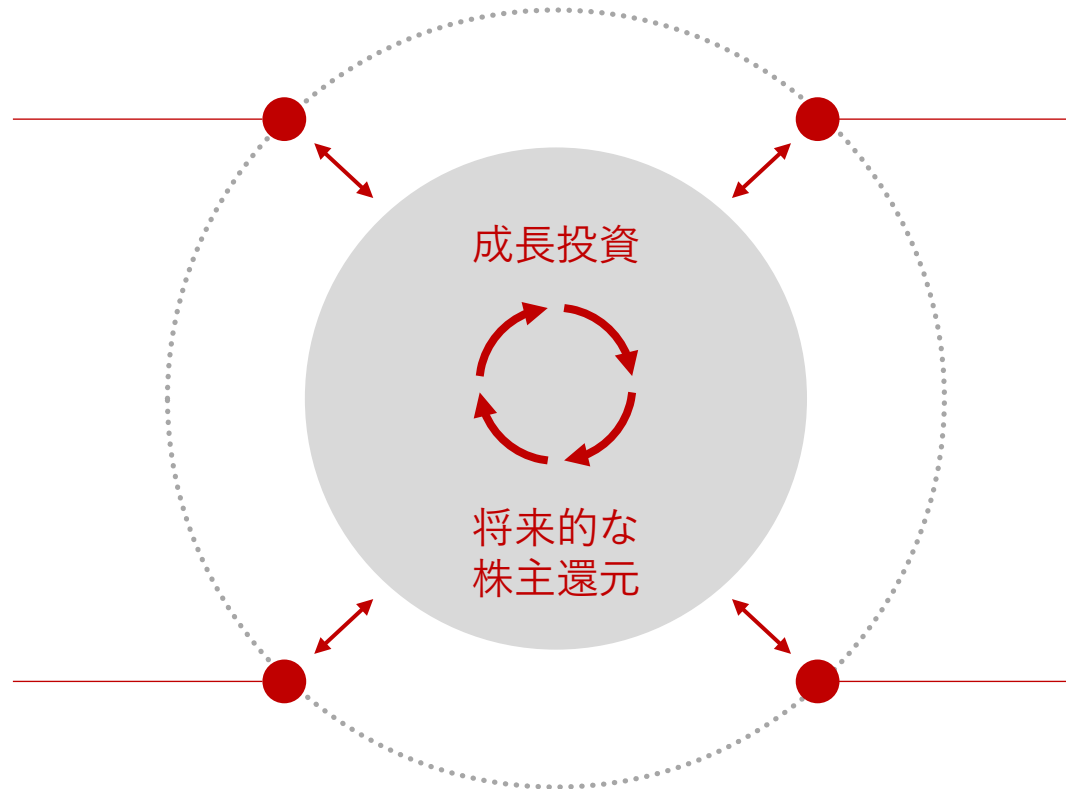
**30-40%**

適切なコスト管理による  
水準の維持

プリンシパル投資リターン

MOIC  
**約3.0x**

新規投資の呼び水だけでなく、  
確かな経済的リターンの獲得



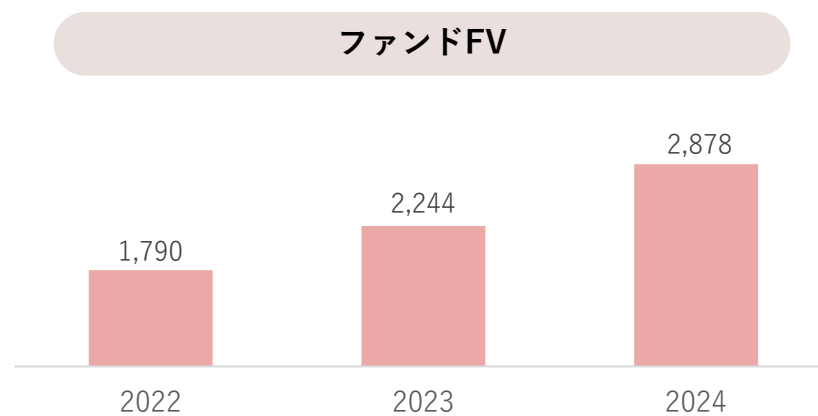
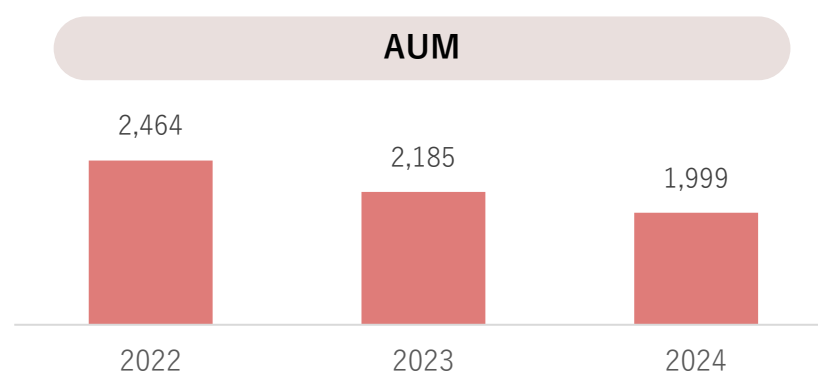
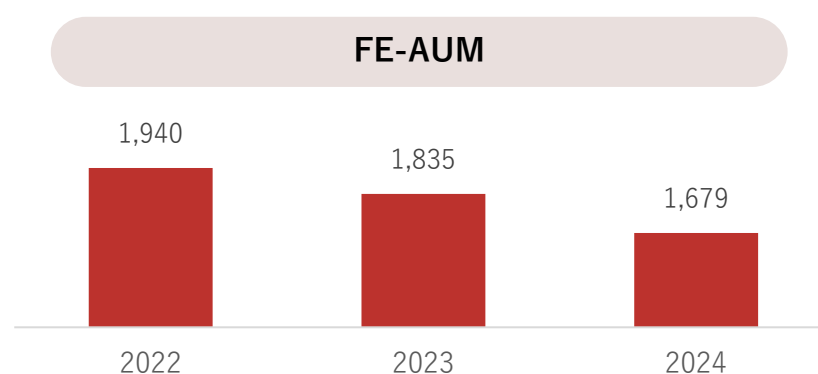
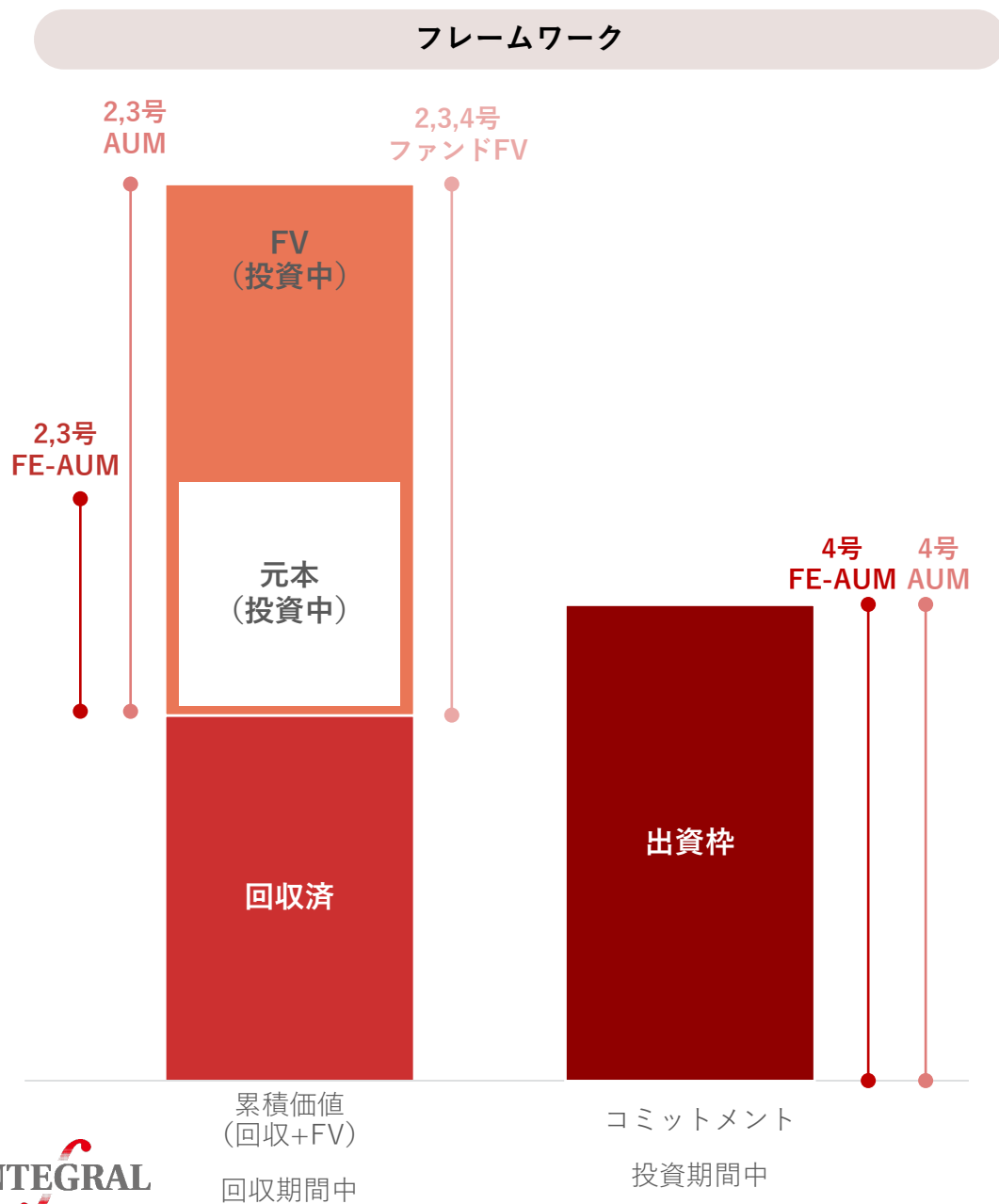


6

財務数值

# FE-AUM、AUM、ファンドFV

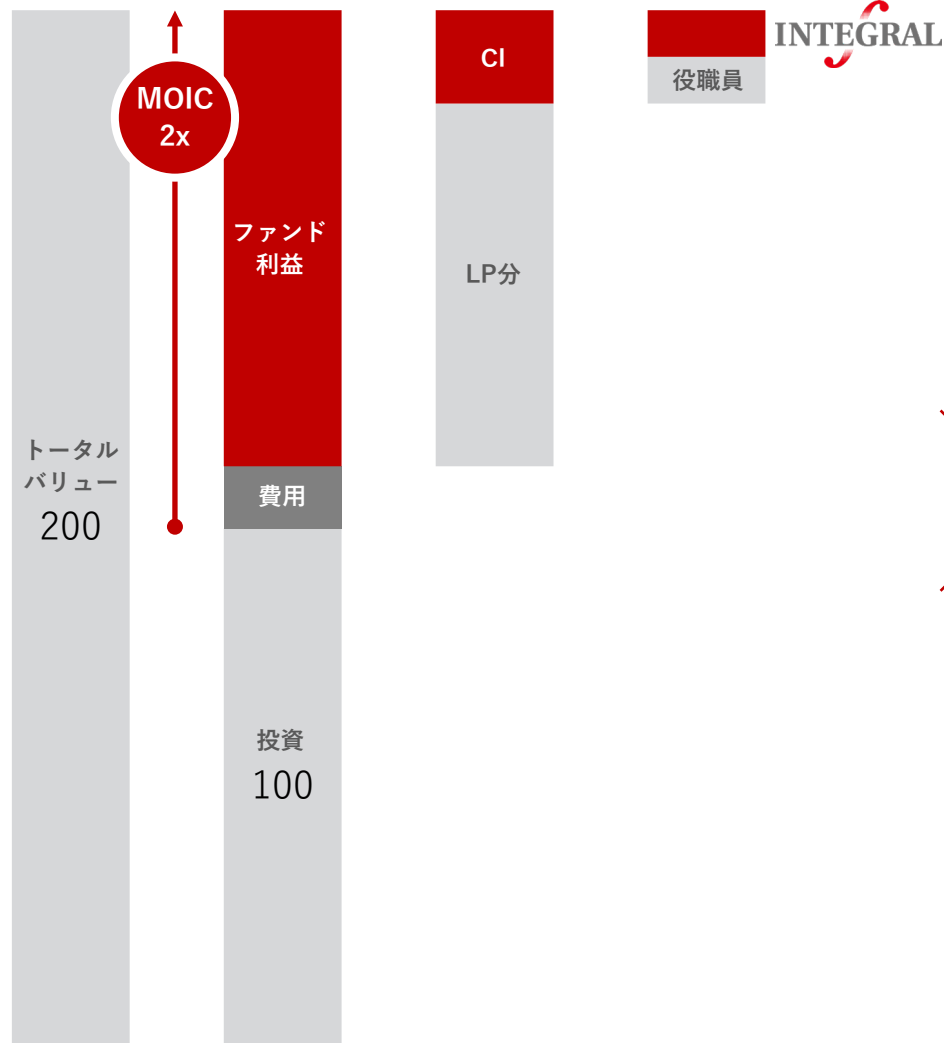
(億円)



# ファンド毎の未実現CI

億円

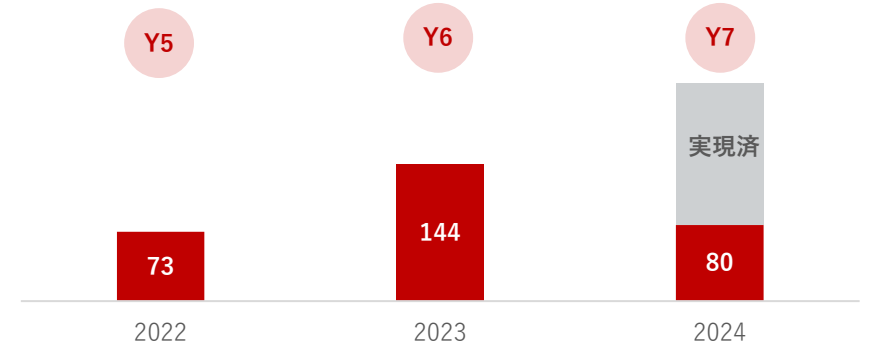
フレームワーク: MOICがCIの大きさに直結



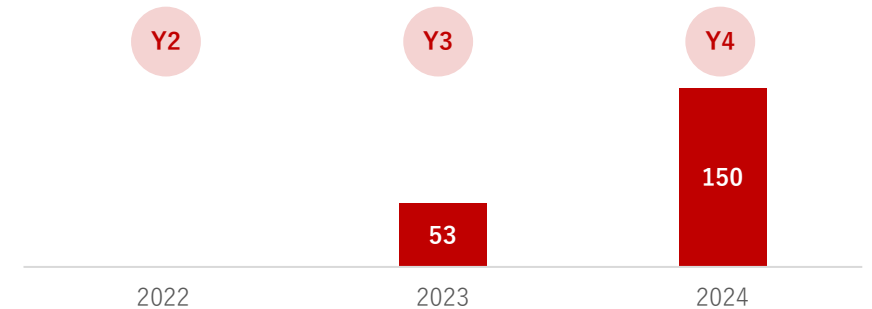
2号シリーズ



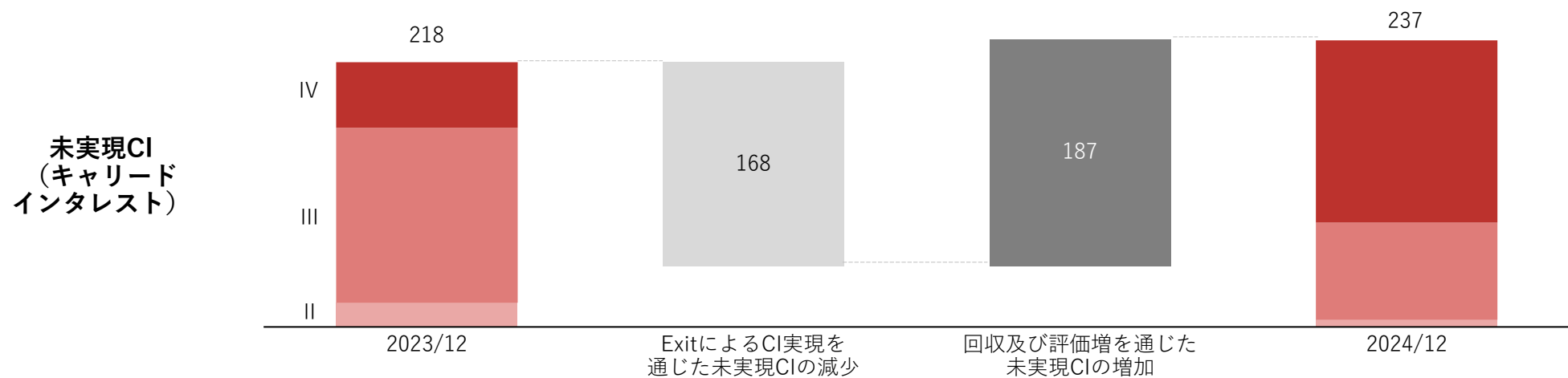
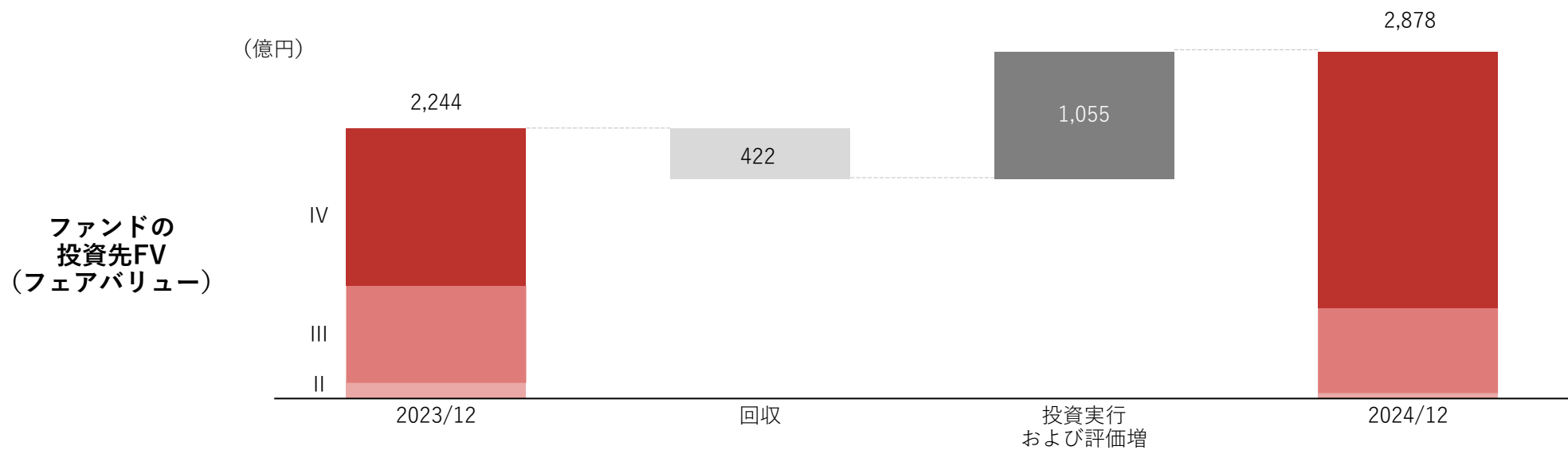
3号シリーズ



4号シリーズ

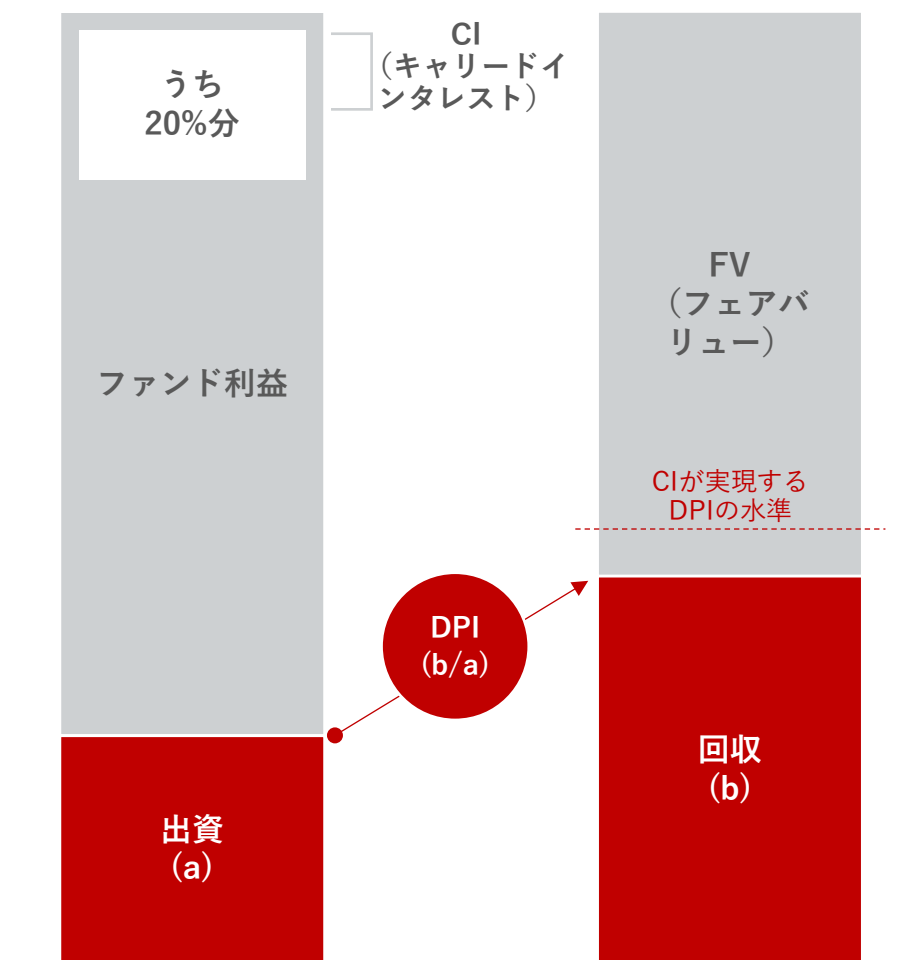


# FVおよび未実現CI

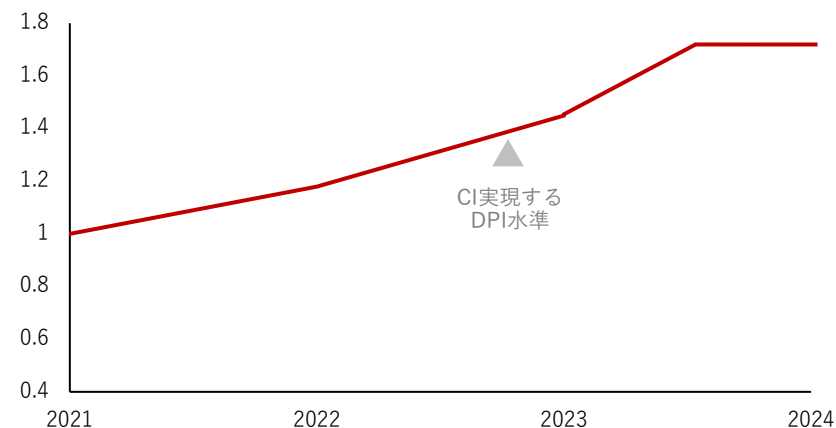


# キャリードインタレストの先行指標（DPI）

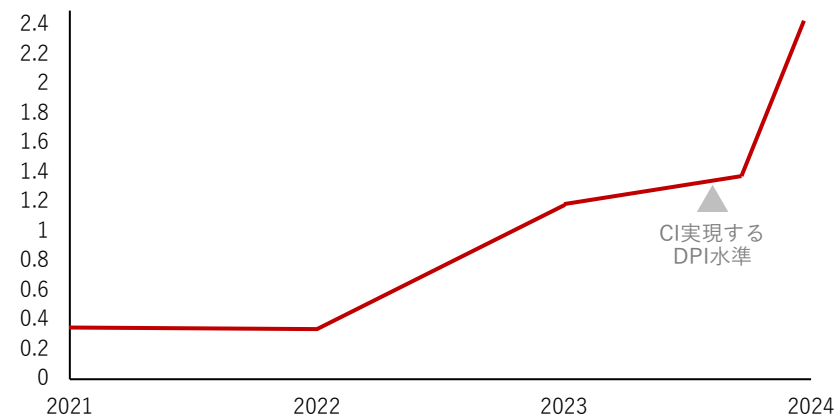
DPI (Distribution to Paid-In Capital)が先行指標に



2号シリーズ<sup>1</sup>



3号シリーズ<sup>1,2</sup>



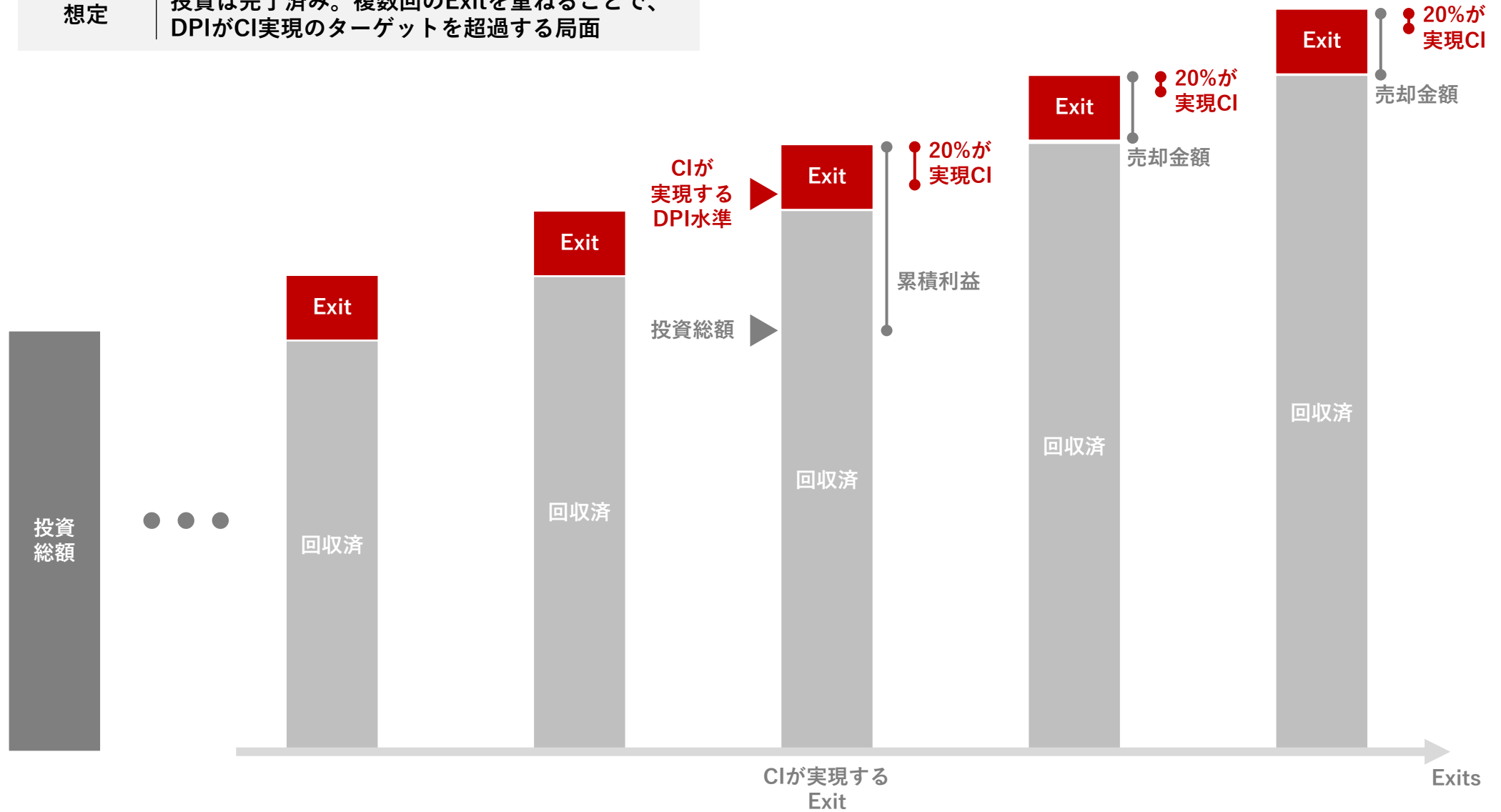
1. 支払済のCI（キャリードインタレスト）を考慮する前のDPI数値
2. 2024年12月末のT-Garden株式売却に伴う分配予定額まで考慮した前提

# DPIとCI実現

## 1ファンドにおけるモデルイメージ

想定

投資は完了済み。複数回のExitを重ねることで、DPIがCI実現のターゲットを超過する局面



# 主要財務数値

## 連結損益計算書

	(実績) 2023年12月期 通期	(実績) 2024年12月期 通期
投資売却による実現利益（損失）	1,045	1,200
ポートフォリオへの投資の公正価値変動	2,182	2,219
公正価値で評価している子会社の公正価値変動	3,605	7,187
その他の投資収益	36	26
<b>投資収益総額</b>	<b>6,870</b>	<b>10,633</b>
受取管理報酬	3,755	3,494
キャリドインタレスト	3,254	16,849
経営支援料	197	250
その他の営業収益	5	2
<b>収益</b>	<b>14,082</b>	<b>31,230</b>
人件費	1,968	2,731
その他販管費	1,118	2,480
<b>営業費用</b>	<b>3,087</b>	<b>5,212</b>
<b>営業利益（損失）</b>	<b>10,994</b>	<b>26,017</b>
金融収益	6	225
金融費用	81	257
<b>税引前利益（損失）</b>	<b>10,919</b>	<b>25,985</b>
税金費用	3,345	7,879
<b>当期利益（損失）</b>	<b>7,574</b>	<b>18,105</b>



# 主要財務数値

## 連結財政状態計算書

(百万円)

	2023年12月期	2024年12月期
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,922	22,137
営業債権及びその他の債権	206	10,779
未収法人所得税	0	1
貸付金	35	-
その他の短期金融資産	15	1
その他の流動資産	49	149
<b>流動資産合計</b>	<b>19,229</b>	<b>33,070</b>
非流動資産		
投資	36,404	42,730
ポートフォリオへの投資	8,468	7,534
公正価値で評価している 子会社への投資	27,936	35,196
有形固定資産	208	178
使用権資産	255	420
無形資産	3	1
貸付金	-	2,387
その他の長期金融資産	194	260
その他の非流動資産	0	-
<b>非流動資産合計</b>	<b>37,066</b>	<b>45,979</b>
<b>資産合計</b>	<b>56,296</b>	<b>79,050</b>

	2023年12月期	2024年12月期
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	781	897
未払法人所得税	1,477	4,612
未払消費税	36	29
前受金	615	1,406
借入金	780	759
公正価値で評価している 子会社からの借入金	3,500	-
リース負債	141	111
賞与引当金	66	258
その他の流動負債	119	119
<b>流動負債合計</b>	<b>7,519</b>	<b>8,195</b>
非流動負債		
借入金	759	2,389
リース負債	35	153
資産除去債務	114	212
繰延税金負債	8,003	10,465
<b>非流動負債合計</b>	<b>8,912</b>	<b>13,220</b>
<b>負債合計</b>	<b>16,432</b>	<b>21,415</b>
<b>資本</b>		
資本金	7,634	7,634
資本剰余金	6,371	6,421
利益剰余金	25,866	43,574
新株予約権	0	0
自己株式	△9	△6
親会社の所有者に帰属する 持分合計	39,864	57,624
非支配持分	-	9
<b>資本合計</b>	<b>39,864</b>	<b>57,634</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>56,296</b>	<b>79,050</b>

# 主要財務数値

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	(実績) 2023年12月期 通期	(実績) 2024年12月期 通期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前利益(△は損失)	10,919	25,985
減価償却費及び償却費	185	205
株式報酬費用	0	0
受取利息及び受取配当金	△37	△251
支払利息	81	255
引当金の増減額 (△は減少)	66	191
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	118	△10,573
ポートフォリオへの投資の増減額 (△は増加)	△684	933
公正価値で評価する子会社への投資の増減額 (△は増加)	△4,326	△7,259
貸付金の増減額 (△は増加)	△35	△2,220
その他の金融資産の増減額 (△は増加)	△44	37
その他の資産の増減額 (△は増加)	7	△6
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	258	56
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37	△7
前受金の増減額 (△は減少)	△390	791
その他の負債の増減額 (△は減少)	18	△0
その他	△2	△0
<b>小計</b>	<b>6,099</b>	<b>8,138</b>
利息及び配当金の受取額	38	27
利息の支払い額	△93	△63
法人所得税の支払額及び還付額 (△は支払い)	△417	△2,284
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,626</b>	<b>5,818</b>

(百万円)

	(実績) 2023年12月期 通期	(実績) 2024年12月期 通期
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5	△11
敷金及び保証金の差入による支出	-	△91
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△5</b>	<b>△102</b>

(百万円)

	(実績) 2023年12月期 通期	(実績) 2024年12月期 通期
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
公正価値で評価している子会社からの借入れによる収入	2,550	-
公正価値で評価している子会社からの借入金の返済による支出	△3,400	△3,500
借入れによる収入	-	2,255
借入金の返済による支出	△800	△780
リース負債の返済による支出	△140	△141
株式の発行による収入	13,113	-
株式の発行による支出	△329	-
自己株式の売却による収入	0	52
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	-	△398
非支配持分からの払込による収入	-	10
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>10,992</b>	<b>△2,501</b>

**INTEGRAL**

A stylized red integral symbol is positioned vertically over the word "INTEGRAL". The symbol is a thick, red, curved line that starts at the bottom, curves to the right, then back to the left, and ends at the top, resembling a large, bold integral sign.